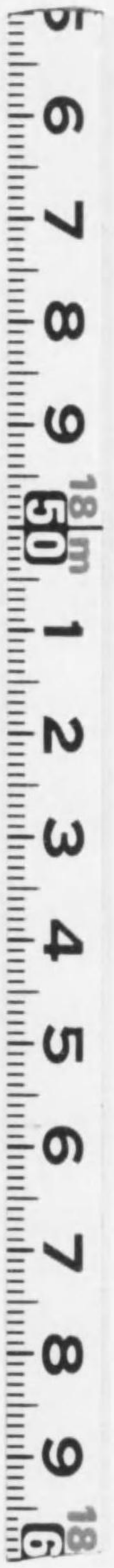


特252

964

罫線上に於ける型の法



始



特252  
964

## 目次

- 第一章 經濟界の見透 ..... (一)
- 第二章 株式相場騰落の豫想法に就て ..... (四)
- 第三章 罫線上の相場騰落の法則に就て ..... (七)
- 第四章 神祕罫線の見方と引き方 ..... (九)
- 第五章 大底線の型 ..... (二)
- 第六章 天井線の型 ..... (五)
- 第七章 天底線の型 ..... (六)



第八章 天井線の早見法則……………(101)

第九章 大底線の早見法則……………(101)

第十章 保合後の法則……………(102)

目次終

第一章 經濟界の見透

最も至難な株式場裡に在つて、良くその機を掴み、變に應ぜんとし  
てゆくには常に、今後の經濟界の確實なフアースイトを持つて居ら  
ねばならぬ。

ロンドンに於ける軍備縮少會議の決裂は三六年の危機を重大に豫想  
せしむるものがあり、又國內的に見て、政局の變異加ふるに經濟實  
力の充實は國の内外に於ける日本の景氣の爆發を想像して余りあ  
る。

非常時といふ言葉は赤子の口にまで呼ばれる様になつたが、吾が經  
濟界に於ては非常時と全く正反對に、その充實しつゝある偉力を益  
々高揚せんとする氣構にある。

銀行預金の増加に正比例してその遊資の増大は相も變らぬ低金利時代を現出して居るが、しかしそれが反つて事業界の整理に好都合を齎し且つ生産費の低下と圓貨の低落は對外貿易に劃期的の飛躍を齎した。

随つて本年に於ける事業界もそれ等を基調として益々堅實になつてゆくものと見られる。

次に各株式部門の展望を試みて見よう。

#### 一、軍需工業界

軍縮會議の決裂は益々國防非常時の感があり、國防力整備といふ事に就ては絶對的必要なる状態となつて居る。國防豫算の稱ある所以である。随つて直接と、間接とを問はず軍需業の擴充は必然的であり、軍需株價の將來性も愈々堅調となる。即ち造船業、重工業、

窒素、曹達等の化學工業、製鐵製鋼業等が是れである。

#### 二、綿業界

綿業界に於ては既に不況が浸潤した感がある。現在に於ては操短繼續で需給の均衡は辛じて保持し得て居るが、輸出關係の急變に依りどう變化するか判らぬ。兎角不況は今後相當續くものと見ねばならぬ。

#### 三、人絹界

供超の壓迫は依然たるものがある。本年度も矢張り悲觀的現狀を抜け切れぬ。

#### 四、電力界

電力會社の成績は益々向上しつつあるが、電氣事業法の制限は株價の著しい騰貴を阻んで居るが、一般に極めて堅調を持してゆくで

あらう事は否めない。

扱て述で來たつた處を結言すれば今後の景氣動向は大勢的に見て騰勢に赴きつゝあるが北支問題、軍事費の膨脹、金融業者の實體的變理等はその騰勢力に緩急のペロシテイーを與ふる因子となり、波動を書きつゝ或る限度の上昇を示してゆくものと見られるが一般景氣指標はこゝ一年内外を出でずして一應天井となり、以後緩慢なる波動を繰り返し再び活動期に入るものと豫想せられる。

## 第二章 株式相場騰落の

### 豫想法に就て

株式騰落の見分け方は高くなるか安くなるかの二通しかないのだから一見至極簡単な様であるが事實實に六ヶ敷い問題である。

政治經濟及種々な突發材料等色々な因子が混然として株價の騰落を跡してゆく、又人氣、仕手關係、關係人物等も重大な因子となるからである。

扱て株式市場には次の三運動がある事は事實である。即ち次の如くである。

**第一運動** これは仕手關係、關係人物、人氣等の部分的原因によつて起る日々の相場の騰落である。

**第二運動** 第一運動が半月乃至一ヶ月半位費して變化してゆく第一運動の中間的軌跡である。

**第三運動** 第一、第二運動が集つて變化してゆく、二、三年乃至四、五年間繼續してゆく、長期の運動である。

以上の三運動は相場場裡を遊泳する人にとつては常に念頭に明記せ

ねばならぬ法則である。即ちチャールス・エッチ・ダヴの先見法である。

其處に於て諸氏が現今の騰落關係が如何なる運動を起しつゝある最中であるか、換言すれば第三運動に明かな先見を建て、第二運動、第一運動と縮少して豫測を建て、ゆく事により正確なる現在の株價の變動を豫知する事が出来るのである。

凡そ經濟事情の一端を知る者にとつて、第二、第三運動の畧正確なる豫見はさして至難な事ではないのである。

此處に於て問題となるのは第一運動の豫見である。所が第一運動はその變轉著しく、第二、第三運動を豫見するの比ではない。即ち金融關係、對外事情、内政問題、貿易問題、物價關係等混然として一丸となり、加之仕手關係、賣買の關係、人物及各種の突發材料（例

へば昨年に於けるエチオピア問題の如き）等により猫の目の如く日に時に變轉して極りない。故に之を豫見するは一個の經濟學者と雖至難の業であつて、完全の完も盡され得るものでない。此處に於て多數の人は單に過去の相場足取と第六感とを以て、この變化極りない相場をマニキュレートしようとする、難い哉。此處に於て生じたのが、實驗を基礎とせる野締上の型の研究による先見法である。

### 第三章 野線上の相場騰落の

#### 法則に就いて (神祕野線)

野線又は足取表ともいふ、この野線の本家は本間宗久翁で有ると云ふ。役はこの野線による米相場をやつて大きな産をなした。

即ち野線と稱するものは其處に全ての財界の事情、人氣、國際、事情、仕手關係等凡そ日々の株價の算定因子を綜合し圖化したものであつて、取引所株は取引時株、軍需株は軍需株と各々の特異な動きの跡を歴示して居るものでその野線に於ては、各銘柄の特徴ある動きが前章の第二及び第三運動として明示される。

しかして吾人の知らんと欲する第一運動及び第二運動の部分的部分は、各銘柄共、共通點を持つた型を形成してゆくものである。即ち此處に於て野線上の型の研究の生じた所以である。

故に諸君は實戰に當つては、この型の法則に自己流の考へや第六感を混合さるゝ事なく型の法則に従ふべきである。

## 第四章 神祕野線の見方と

### 引き方

野線の引き方、見方も仲々難いものであるが、初心者にも直ぐ會得出来る様其の大體を示せば次の通りである。

#### 一、陰線

陰線とは大引値が寄付値より下値にあるものであつて▽印を以つて示す。

#### 二、陽線

陽線とは大引値が寄付値より上値にあるものであつて▲を以て示す。

#### 三、本線

値巾全線の中で寄付と大引との間の線を云ふ。

#### 四、過剩線

本線を除けた以外の線であつて、本線の上部又は下部に示した値巾の線である。

#### 五、備考

以上は相場の値段をそのまゝ、一日中の値巾をグラフに示すものである。

大引は▽又は▲印を以て、寄付は横一にて示してある。○▲又は▽の印は寄引同値を示す。

本野線は陰線は黒線陽線は赤線とすれば一層明瞭となるも、印刷の都合上單色とした。

以下各章に於て型を記そう。

## 第五章 大底線の型

(備考) 凡例





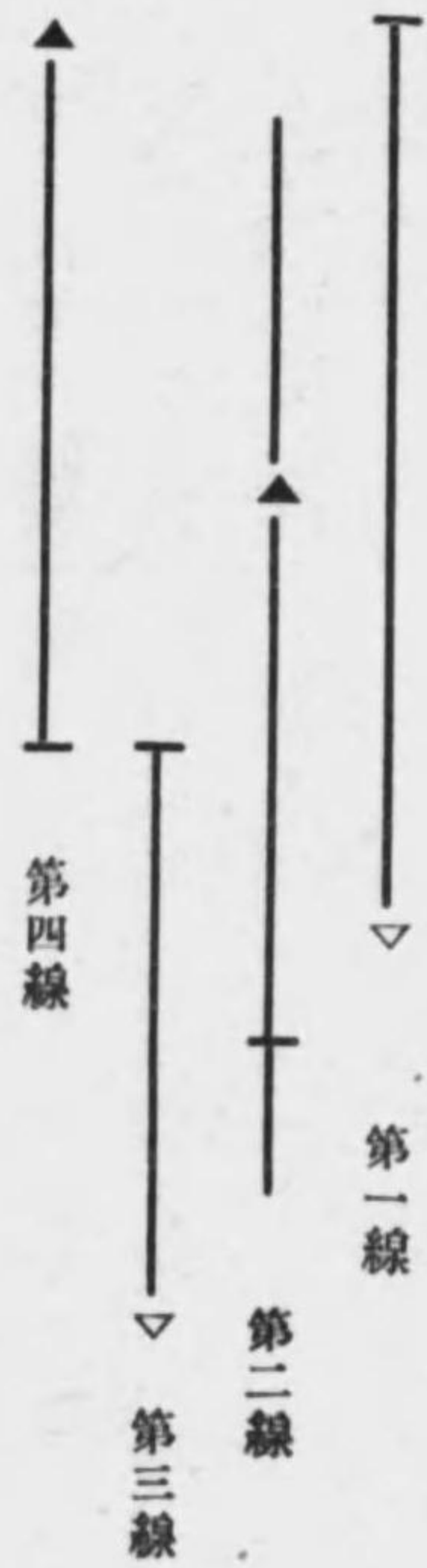
(一)

保合中に於て第一圖に示す第三線の如き短き陰線が現はれて相場  
の  
状態悪く見られるも第四線の如き相当長さ陽本線が現れたる時は以  
後相場は上騰せんとする第一歩にある。

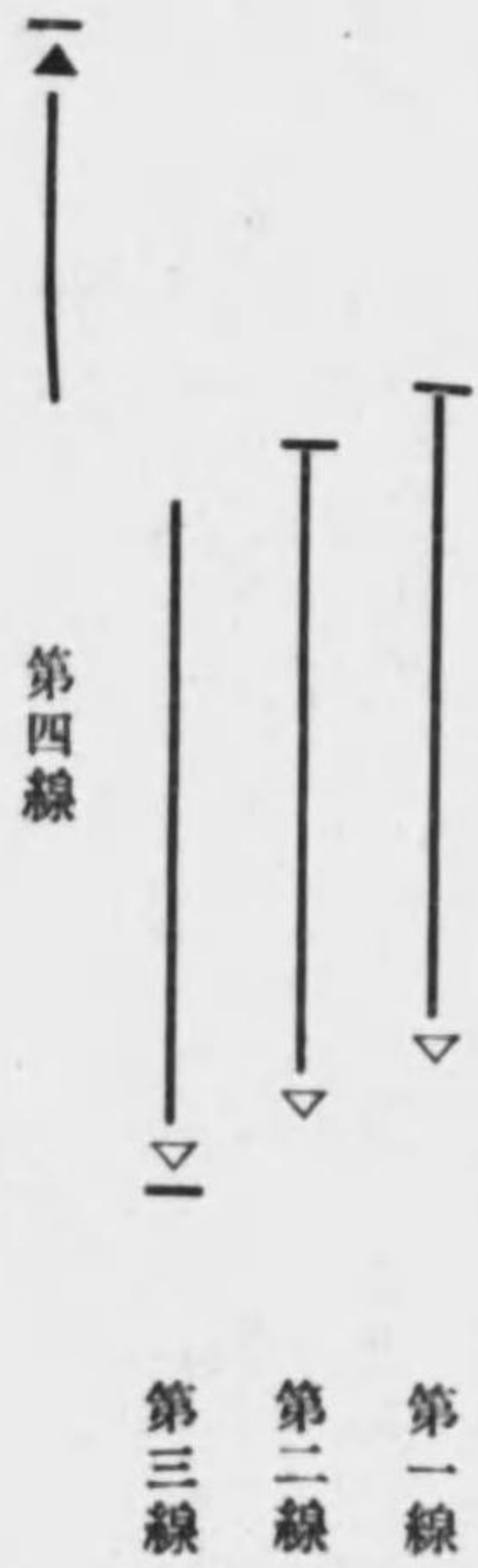
(二)

第二圖の如き場面に於ては相場は行き詰りて近日相場は上昇せんと  
する傾向にある。

(第一圖)



(第二圖)



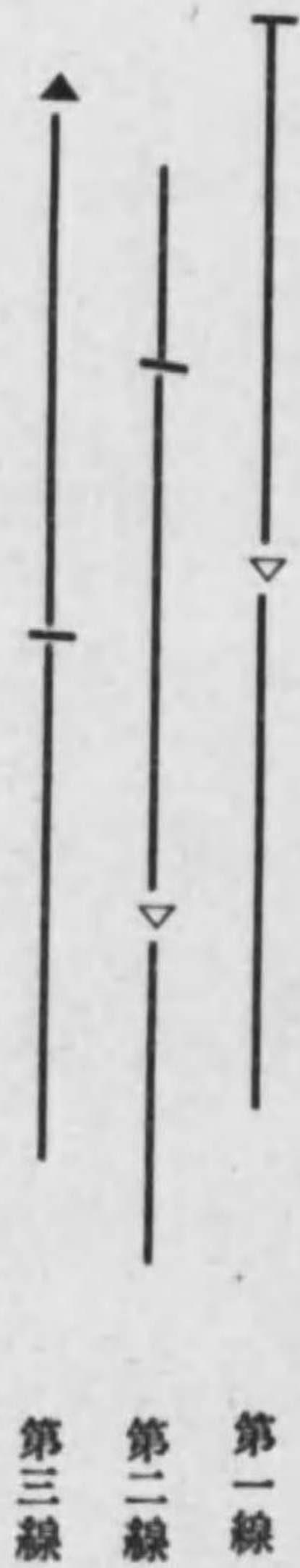
(三)

保合又は教日間續落して第三圖の如く陰線對立中第三線の如き陽線が發生して、其の陰線の尻違ひに前日又は前々日の大引を一氣に突進して第三線の如く高値引したる大引は絶對買となる。

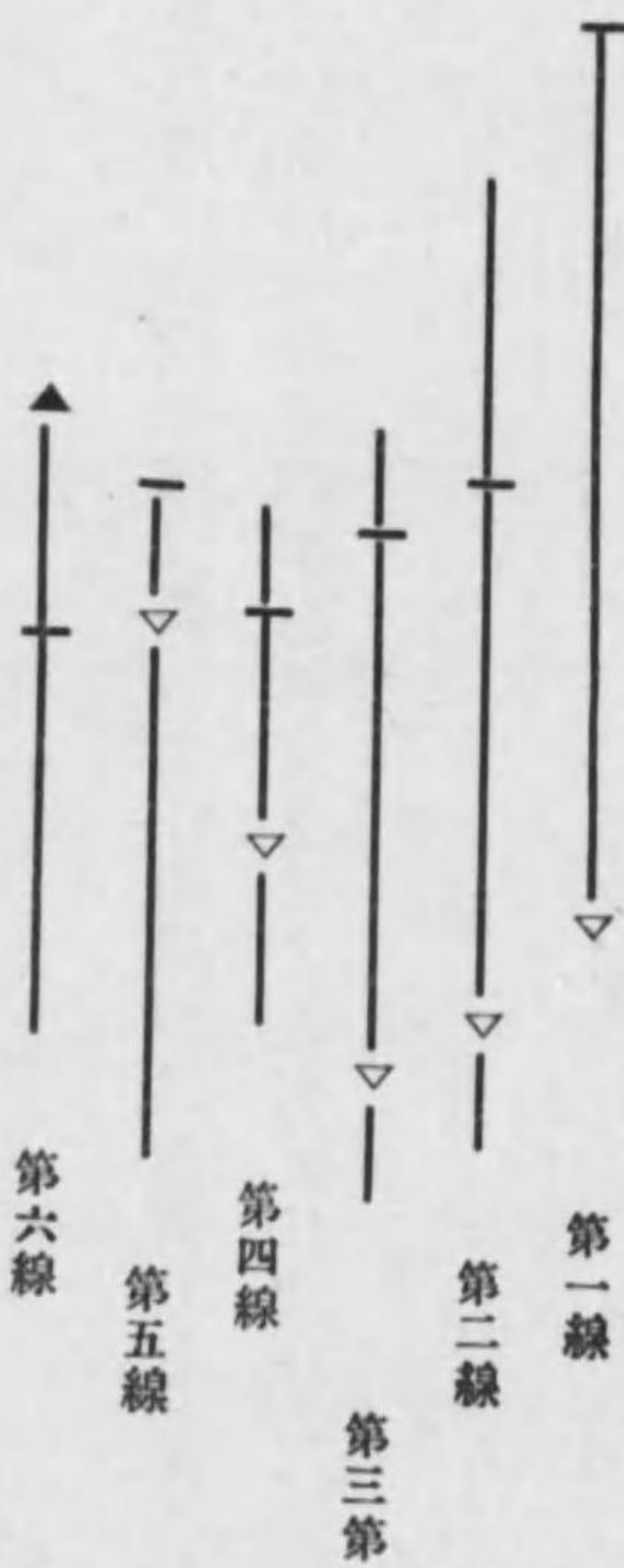
(四)

第四圖の如き陰線が小巾に對立して殆んど不動の状態となり、その尻違ひに陽線が現れて以前の引値を一氣に突き抜いて第六線の如く大引したる場合は買の線法となる。

(第三圖)



(第四圖)



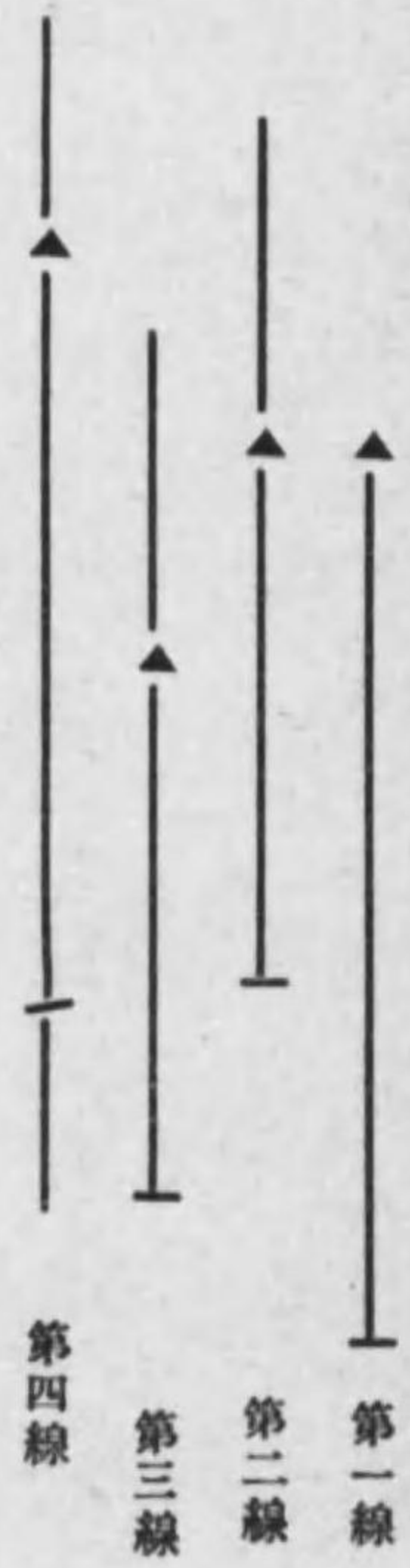
(五)

保合中第五圖に於ける第二線の次に陽線が二本對立して生じその第四の陽線が第二の陰線の中心値以上にて大引すればその値を極力買ふべし。

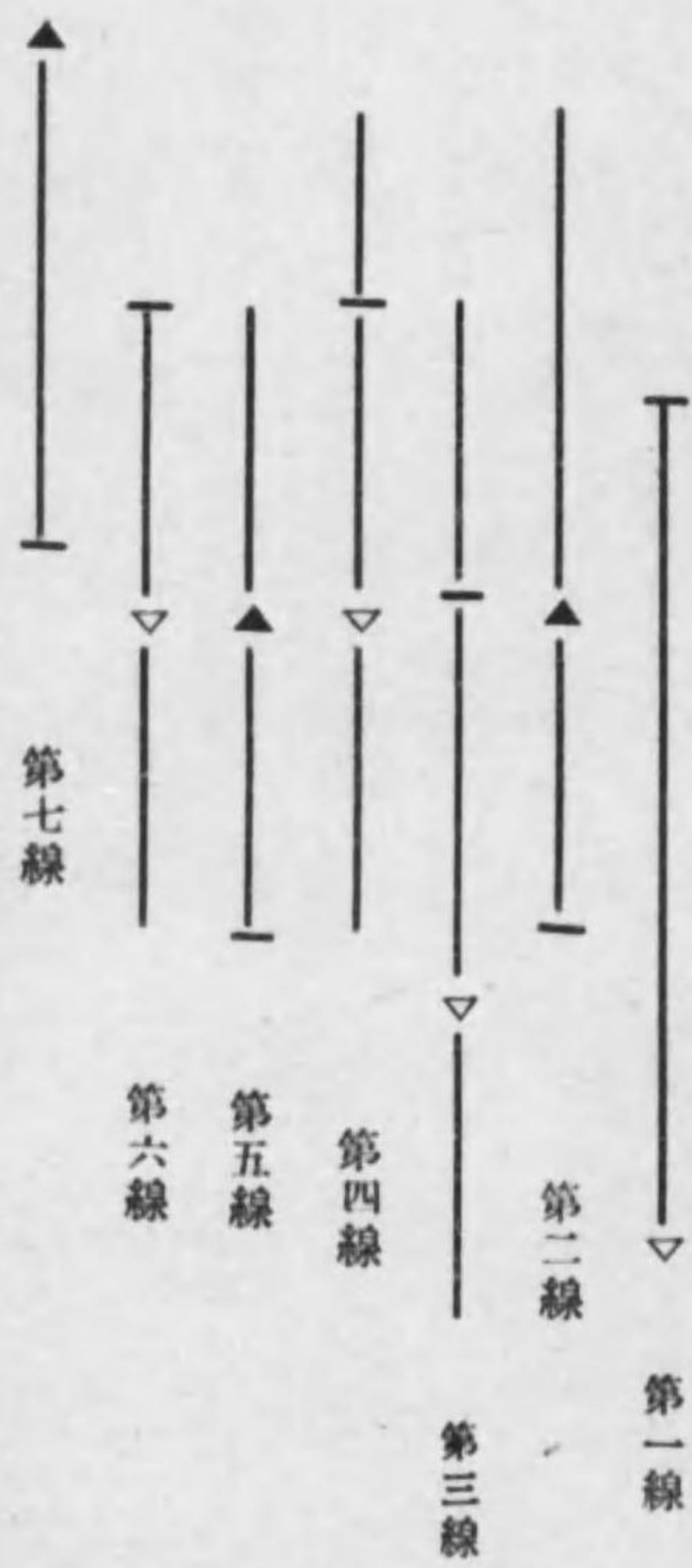
(六)

第六圖の如く陰線陽線ともに小巾に保合となりて各線とも底値が次第に尻上りとなつて陽線にて各大引値を切り放れて第七線の如く高値引したる場合は買の線法となる。

(第五圖)



(第六圖)



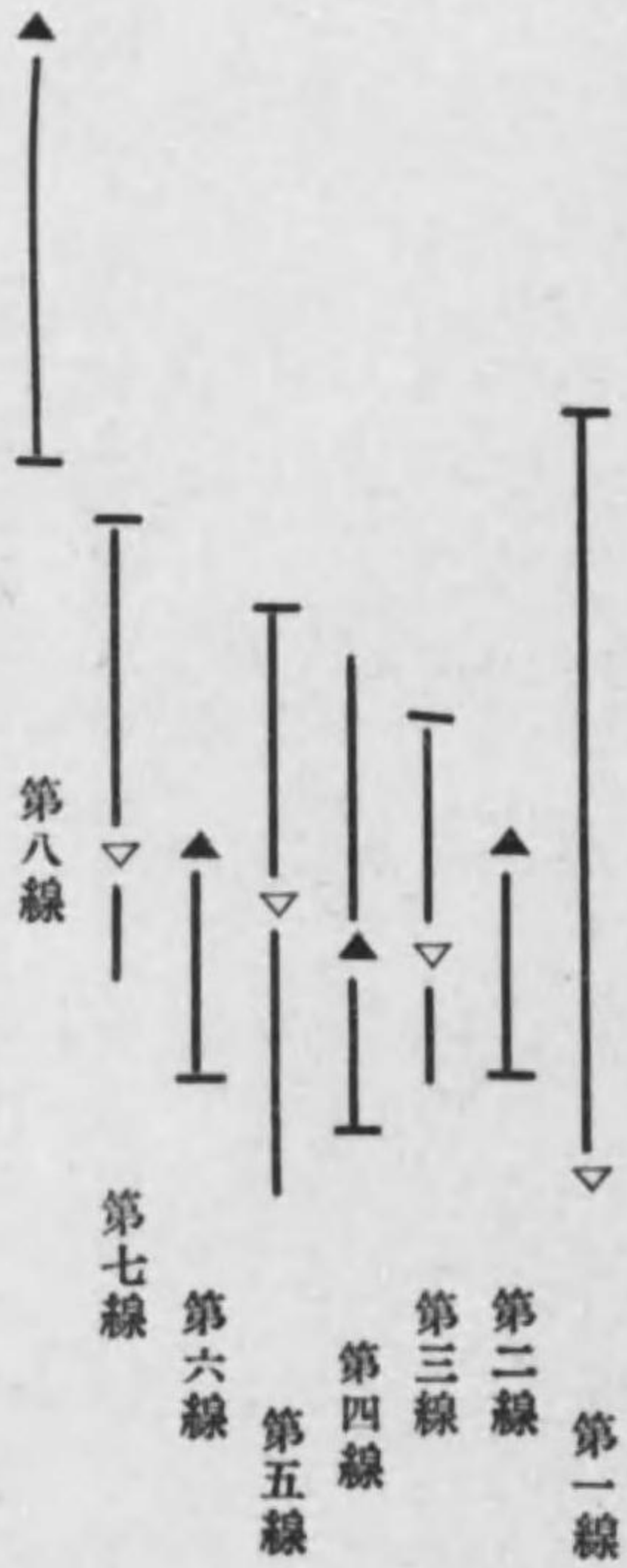
(七)

數日間小巾に保合して各線の安値か次第に尻上りとなり第八線の如く最後に飛離れた陽線が現れる場面は昂騰の前兆であつて極力買ふべきである。

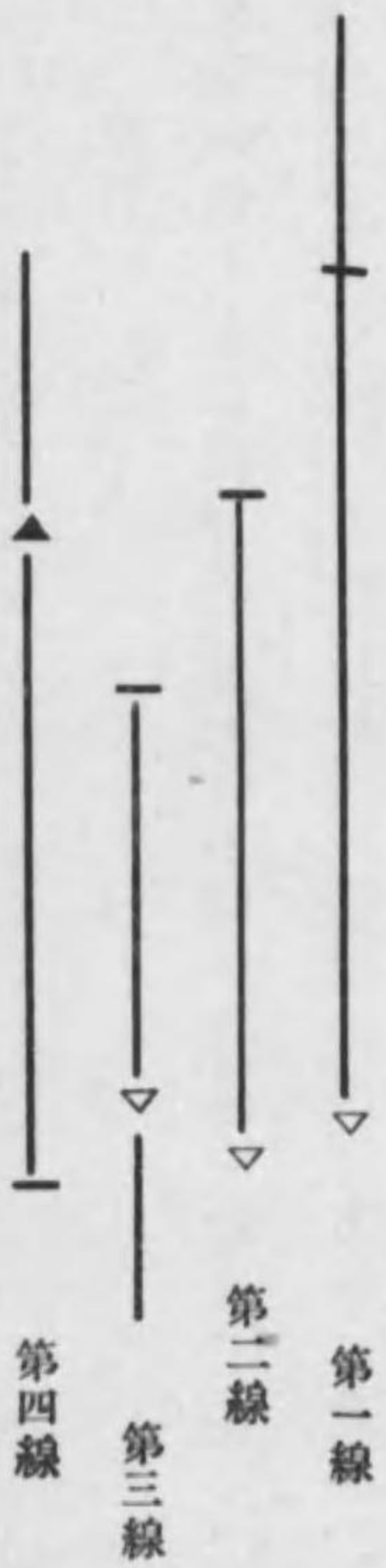
(八)

數日間崩落を重ねて第八圖の如く陰線對立中第三線の如く最も長き過剩線を下向につけ本線が短くなりて第四線の如く第二、第三の大引値を上廻りして陽線に大引したる時は絶對買である。

(第七圖)



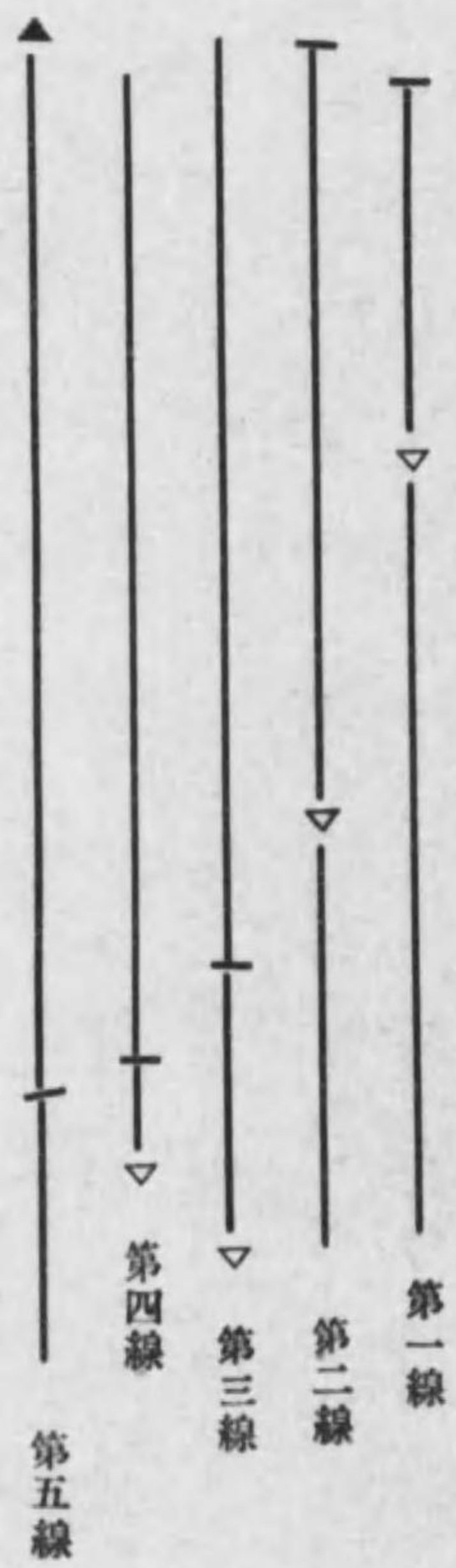
(第八圖)



第九圖の如く數日間續落して陰本線が次第に短くなりて、上向に長き過剩線を示す様になれば相場は從來の反對方向に進んとする氣構を芽生してゆく感のある第三線の如きものが現れてそれが數本も對立して、且つ次の陽線に於て前日又は前々日の大引値を上廻りして陽引する場合は絶對買線法となる。

(九)

(第九圖)



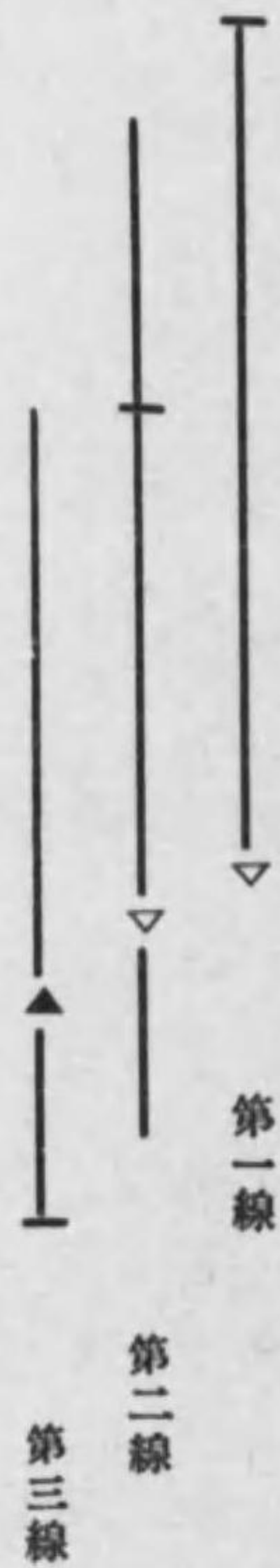
(十)

數日間下落の後第三線の如く第二線の過剰線より下値に寄付相當長く上向に過剰線を作りて第二線の値巾中に陽引したる時に漸次上騰相場に轉ずる。(第十圖)

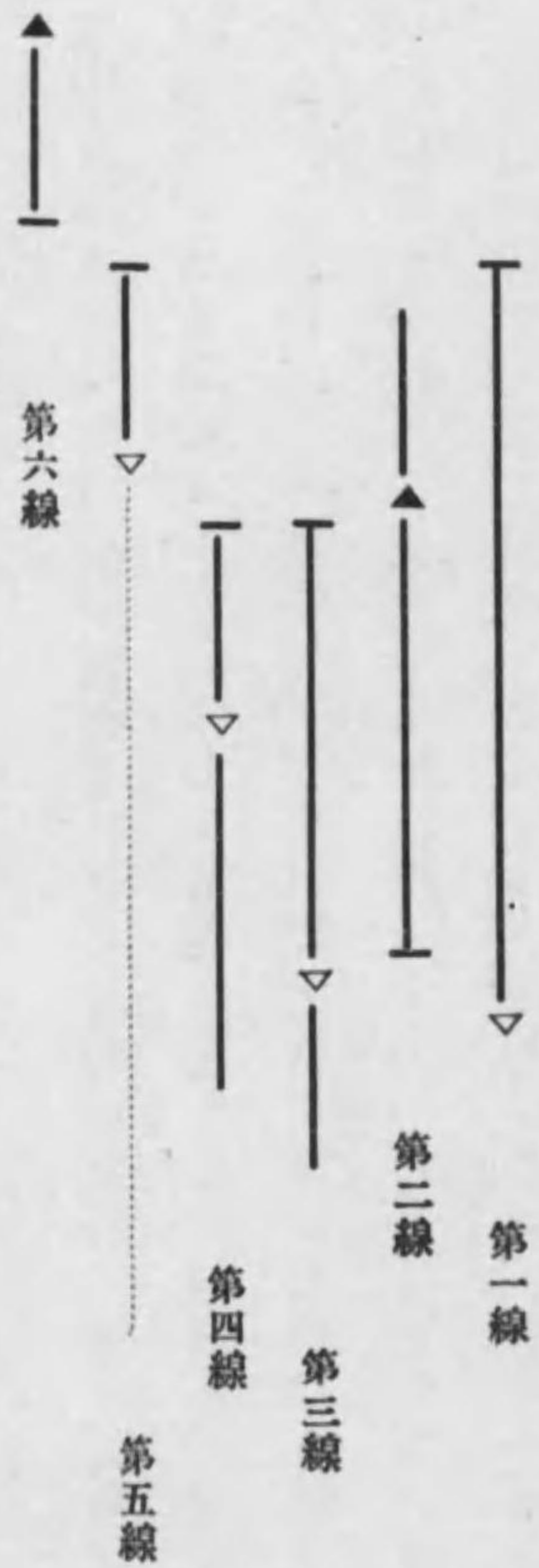
(十一)

第十一圖の如く陰線の對立が多く各下向に過剰線が現はれて一見底のやうであるも第五線の如く上放れて過剰線の短き陰引は崩落することがある。然しその過剰が最も長く形づけば大底となる。而して第六線の如く上放れて陽線が現れば相場は漸次好轉す。

(第十圖)



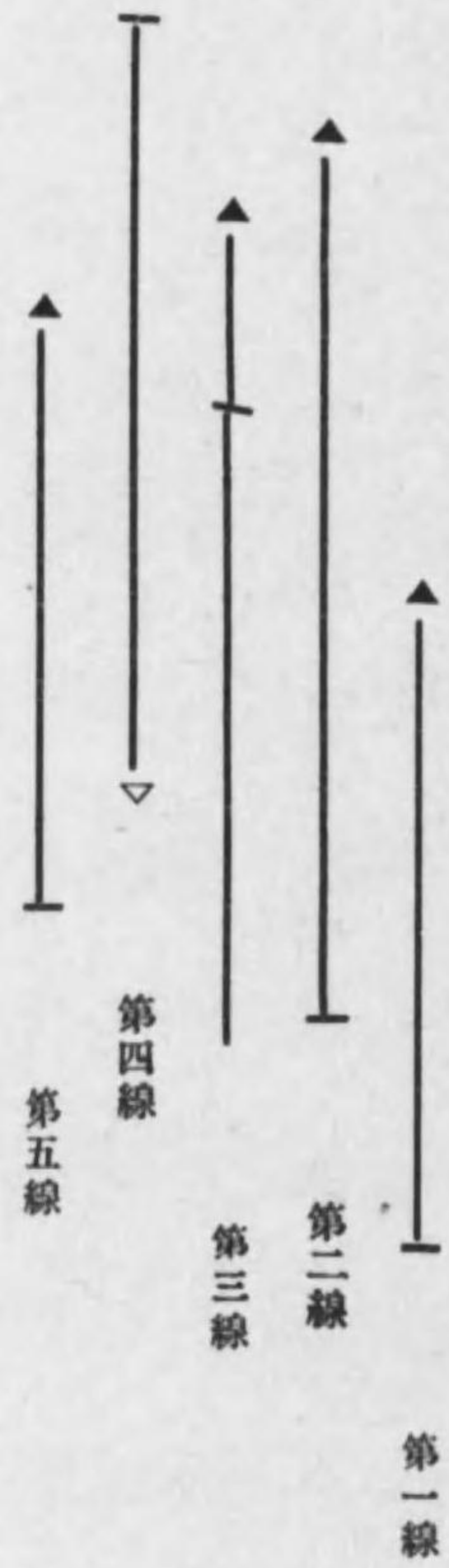
(第十一圖)



(十一)

第十二圖に於て上騰中の相場なれども陽線が意外に多く對立する時は相場が前途昂騰するものとしても振ひ落しの押目が發生することあり。然し、第四線の如き陰線が現はれたれば買付ける場所は次の陽線が第四線の値巾の中心以上に大引したる時である。要するに第五線の型の如く陽線の發生するまで待つことが肝要である。

(第十二圖)



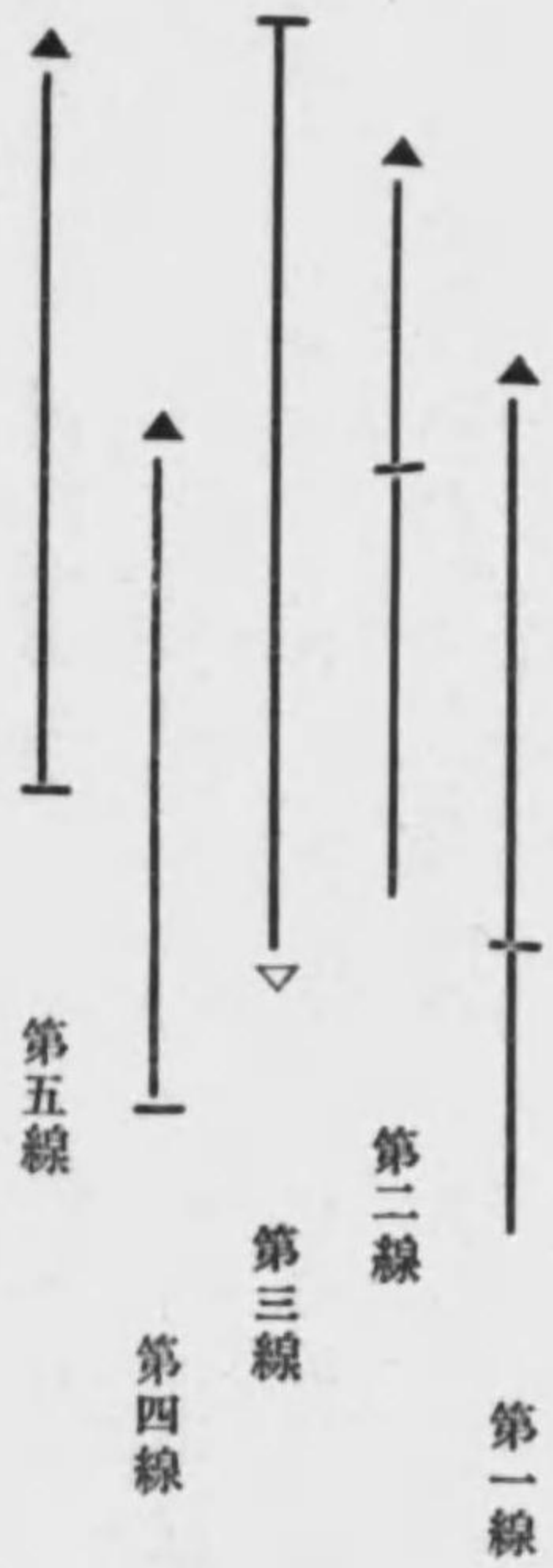
(一三)

上げ相場が一見終了したる如く第十三圖のやうに第三線にて最も強き陰線が発生すると次回にて陽線が二本以上對立して第三線の値巾の中心値以上に陽引したところにより買付けば可なり。第五線の大引は買ふべし。

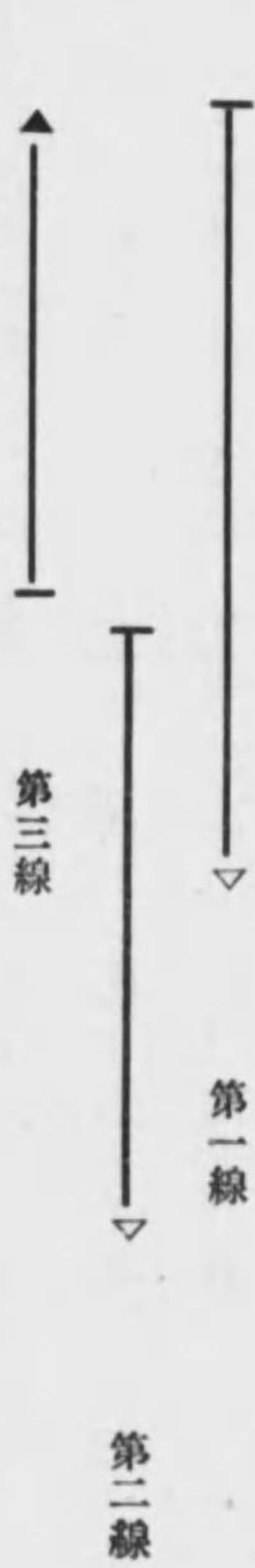
(一四)

保合中相當深き陰線が発生するも第三線の如く第二線を上放れ又第一線の中心値以上に第二線と尻違いに陽引したところは買の線法となる。(第十五圖)

(第十三圖)



(第十四圖)





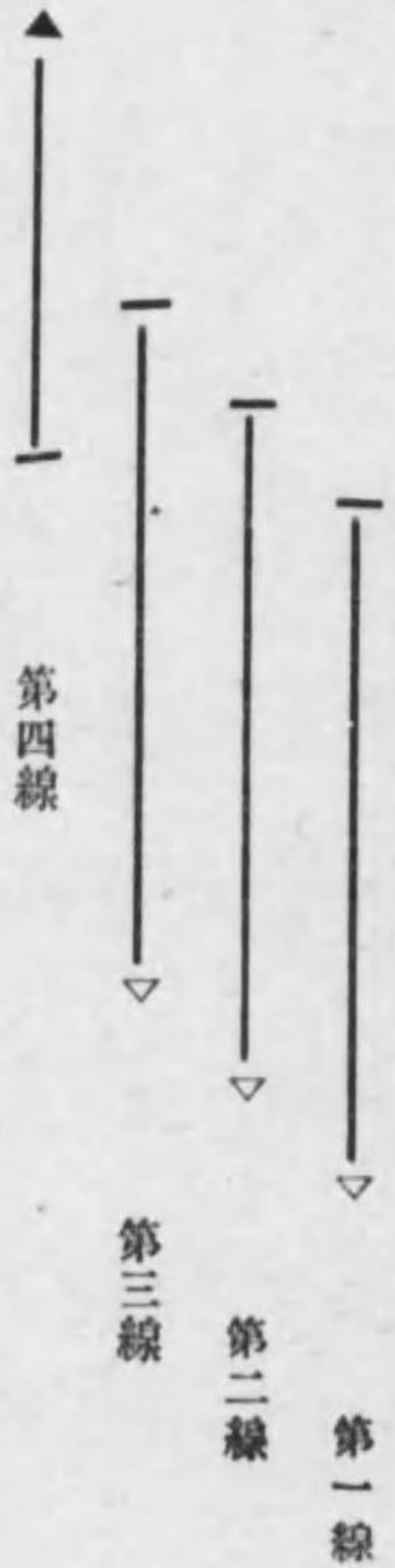
(一五)

第十五圖の第一線第二線の如く陰線にて次第上りの強保合中、最後の陰線の中心値以上にて尻違いに陽線の現はれたる時はその大引は買線法となる。要するに、相場は出直りの場面となる。

(一六)

第十六圖に於て第二線の如く保合下放れて寄付くも二本以上陽線が発生して第一線の中心値以上に大引したる時は上昇する。而して第四線の如き陰線が現はれてもその下向に相當長さ過剩線を示して型の如き場合が生じたれば大暴騰の前兆である。

(第十五圖)



(第十六圖)



(一七)

底位で最も長き陽本線を示して而して第二線の如き陰線が現はれてその本線が短く上下に五八十銭の過剰線をつけたるは大暴騰の前兆である即ち第二線の陰に暴騰性を有するものである。(第十七圖)

(一八)

保合が分岐され第一陽本線の上位で第二陽線の如く寄引間五七十銭乃至二圓方の過剰線を作り而して第三線の如く強い陽線の高値引は暴發生を帯ぶ。(第十八圖)

(第十七圖)



(第十八圖)



(一九)

第十九圖の第一線の如く相當強き陽本線を有して生れ而して第二線の如く上放れして寄付きそれが上向に長き過剩線を有して本線が短く發生すれば爆發性を帯びてゐるが近きに押目を作ること暗示するものである。乍然第三線となるべきその寄付が第二線の値巾より下廻りして寄付きて上向傾向を辿れば聽て大口的に續騰する相場となる。

(第十九圖)



(110)

第一線の如く強き陽線が発生なしその上部に第二線が寄引間小巾にしてその上下に一圓方の過剩線を作りて生れたれば極力買ふべき線法となる。(第二〇圖)

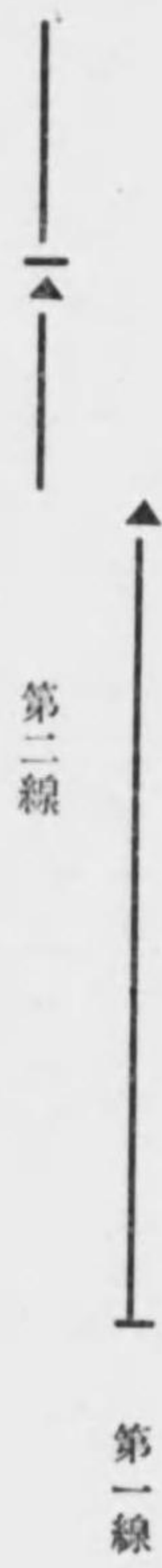
(111)

第一線の如く強き陽線が発生してその上部に第二線の如くに寄引同値に大引なし上下に一圓乃至一圓五十錢方の過剩線を作りて示現すれば大爆發の相場となる。(第二一圖)

(第二十圖)



(第二一圖)



(三三)

第二十二圖の第三線が第一陰線の中心値より以上陽引すれば相場は出直りとなる要するにこの場合は昂騰中押目が生じたる時に見受ける線法である。

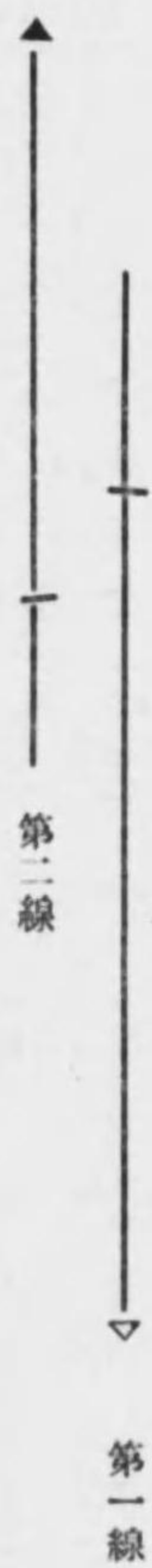
(三三)

數日間續落後第一線の如く最も長く陰本線の現はれは買方の投げを意味す、翌日それと尻違いに第二線の如き陽線を示されれば大引にて極力買ふべしその引値が上位にあればあるほど買方に漁夫の利を占む。(第二十三圖)

(第二十二圖)



(第二十三圖)



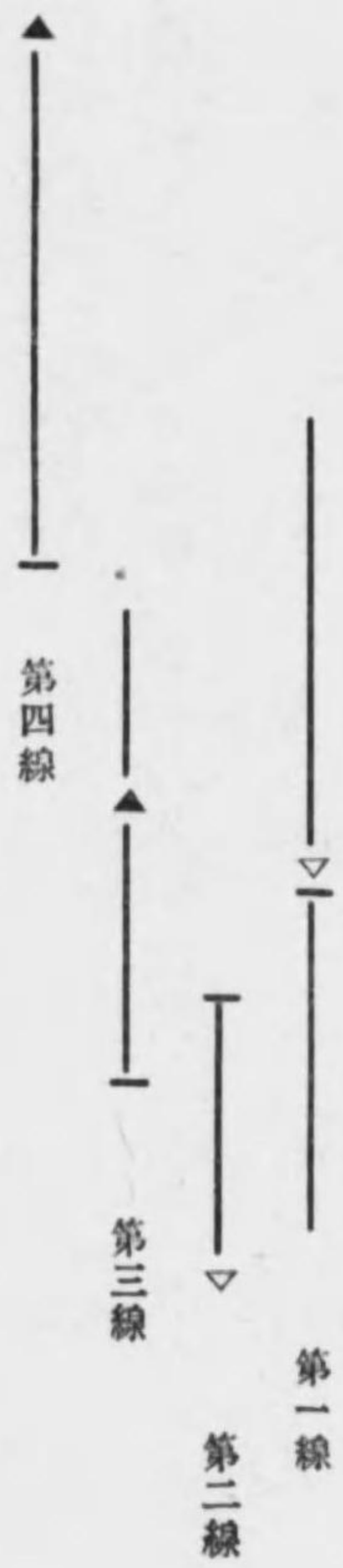
(二四)

下落又は下保合中第一線の如く上下に過剰線を作り次の線も本線が短くなりてその第二線の中心値より第三線が上寄して又その寄付してやゝ強き陽線發生すれば相場は上り相場に轉換する事を意味する線法である。(第二十四圖)

(二五)

大急落後數日間於て第一第二線のごとく突込線が現はれ而して第三線の如く第一、第二線の大引を一氣に上進して陽引したるは買方の線法である。(第二十五圖)

(第二十四圖)



(第二十五圖)



(二六)

急天直下して第一線の如くかなり深く突込み而して第二線にて下向に過剩線を作りて陽引したる後、第三線が第一線の値巾中心より上位に陽引したる場合は買線法となる。更にその第三線が寄引ともに第一全線より上位にあれば相場は新高値に突進すべき素質がある。  
(第二十六圖)

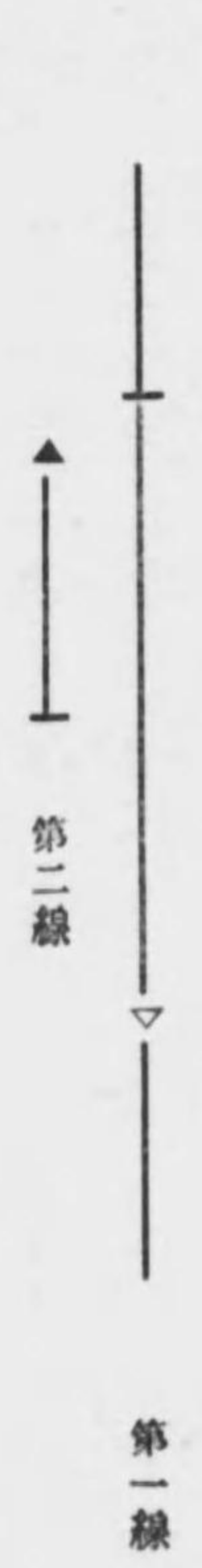
(二七)

次に記入す二十八號型と同一のもの(第二十七圖)

(第二十六圖)



(第二十七圖)



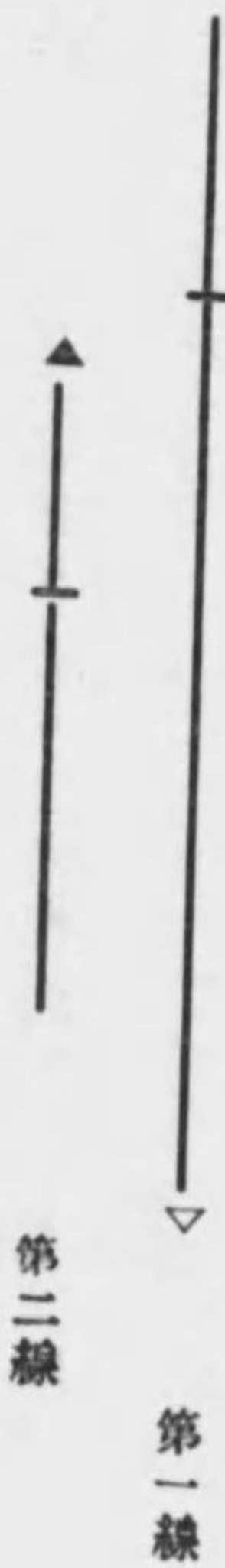
(二八)

急落して第一線の如く突込み第二線にて第一線の値巾中心より上位に高値引陽線が現はれれば買線となるかくの如き場合は上騰中の相場にて振ひ落しの場面に見受ける。(第二十八圖)

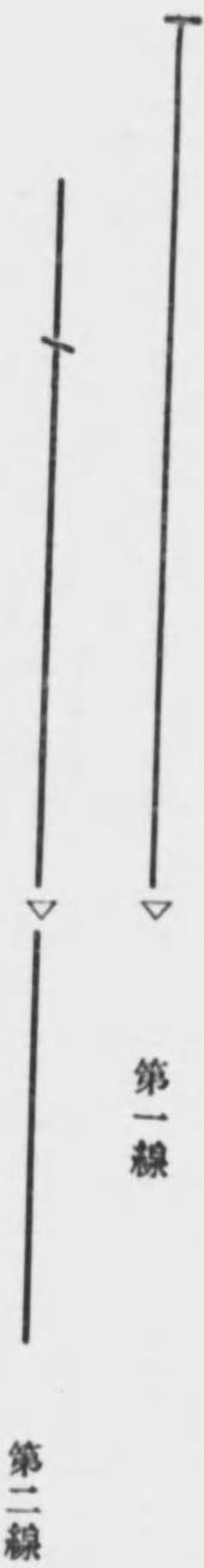
(二九)

續落數日間に涉りて後第一線の如き強き陰線が現はれ第二陰線が第一線と同値に大引したるときは一反撥あるこの場合四圍の人氣弱さほど急騰となる線法である。(第二十九圖)

(第二十八圖)



(第二十九圖)





(三〇)

第一陰線のごとき上向に長さ過剰線を生じ強き陰線を示さば第二、第三線が陰線にかゝわらず第一線の本線中心値より上位に大引したるところを買ふべし。(第三十圖)

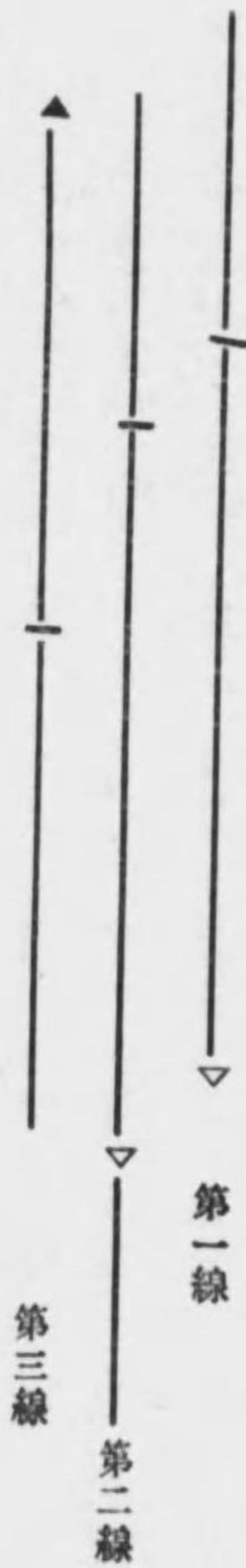
(三一)

續落數日後に第二線の如く下向にかなり長さ過剰線を作りて第三線にて前日前々日の引値を一氣に抜いて高値引と陽線を示せば下落相場が轉換して續騰相場となる大底の線法である。(第三十一圖)

(第三十圖)



(第三十一圖)



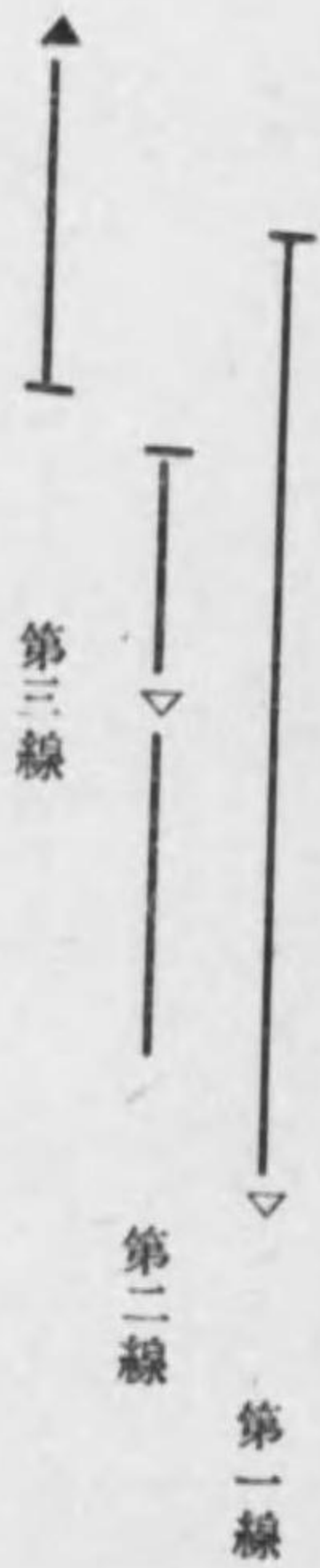
(三二)

第三十二圖に於て第一線はかなり強く陰引の表示なれど第二線か第一線値巾裡に保合不變して第三線にてその尻違いに高値陽引すれば下相場が上相場に變化した意味を示す。この場合第三線の大引を買ふよりも第四線にて陽引したるところを狙ふべし。(第四線は記載せず)

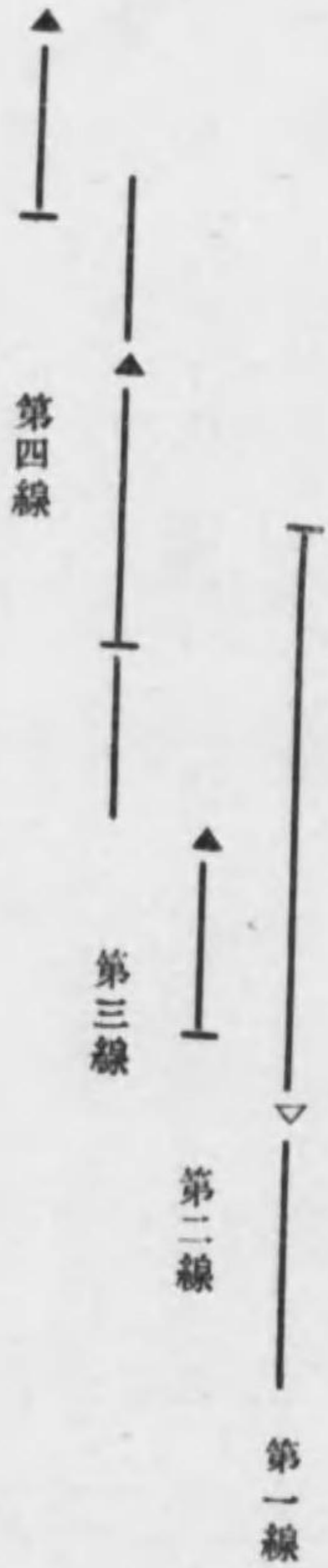
(三三)

第一線にて最も強き陰線を示せども値巾中心上位より第二第三線の如く尻上りの強保合は必然的に上相場となる第三線の如き型に生れば爆發性を帯びる。(第三十三圖)

(第三十二圖)



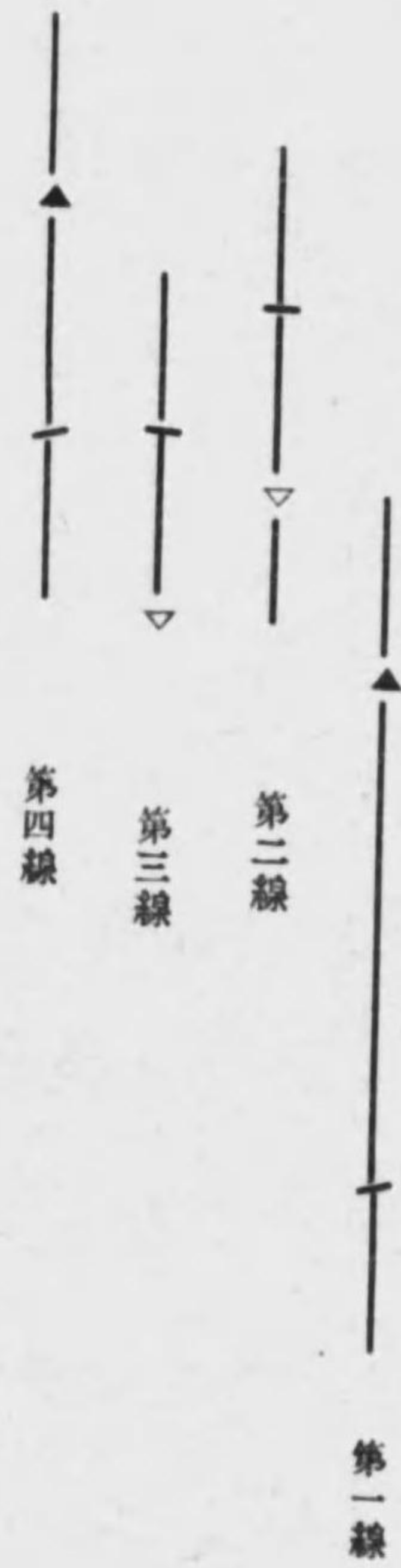
(第三十三圖)



(三四)

第三四圖に於て第一陽線の上位で第二、第三と陰線が現はれて一見落下すべく見受けるもこの陰線は第一陽線の中心値以下に大引する間にあらざれば賣り得ないのである、それより上位にある以上は第一陽線の上向過剩線の發生も懸念することなく大引に買付て然るべきであるこの場面はやゝともすれば下落せんとする氣味があれども之れは暴騰相場の押目線法である。

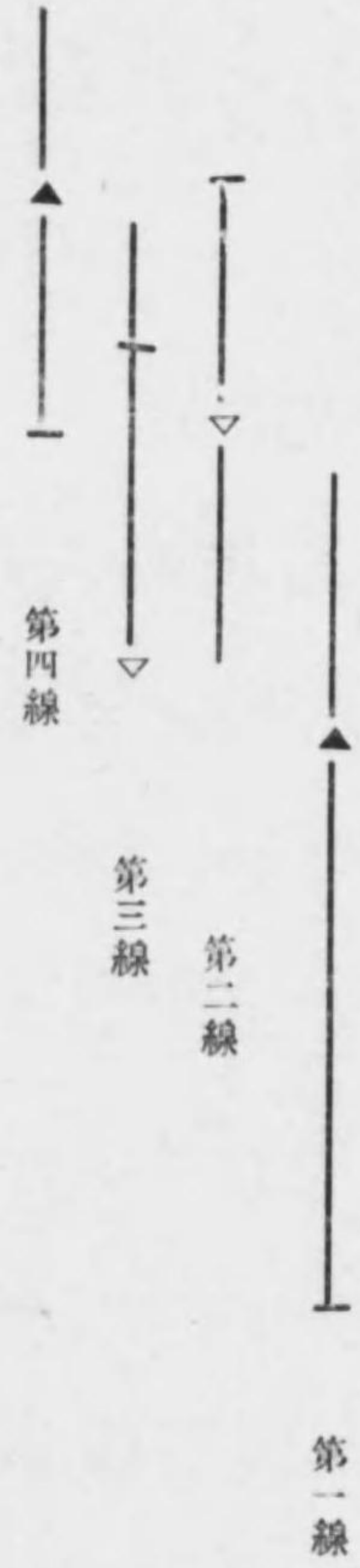
(第三十四圖)



(三五)

第三五圖は三十四號型と殆んど同一である。第二、第三の陰線は第一の陽線値巾中心より下位に大引よるにあらざれば下落することなし寧ろこの陰線が生じるので相場は一層昂騰するのである。その一回目の押目額とを合したる値嵩に相當するだけ第四線以後に於て伸力を増すものである。

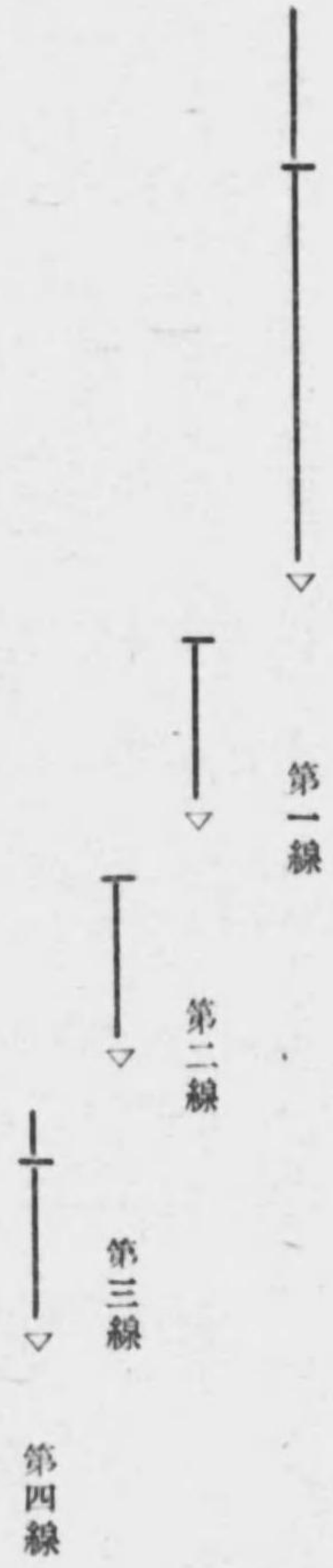
(第三十五圖)



(三六)

次圖の如く第一線が陰引なし、第二線が下放れ陰引なし、第三線亦下放れ陰引なしたる時は投げと見る買建不安ならず第四線尙下放し陰引なしたる時は一轉買向ふべし。

(第三十六圖)



## 第六章 天井線の型

(一)

四五日間續騰して陽線の本線が短く示して本線の數倍長さ過剩線を附けたるときは場面の引締りを意味す。而して第三の線の如く長さ陰本線の現はれたる時は大引にて賣るべし。(第一圖)

(二)

第一線の如く陽本線の數倍長さ過剩線の現はれたる時は天井に近づきつゝあり、次の第二の陰線の現はれは天井の機が熟したる時のみ示す線形である。而して第三線の如く長く本線が陰に大引したる時は賣線法となる。(第二圖)

(第一圖)



(第二圖)

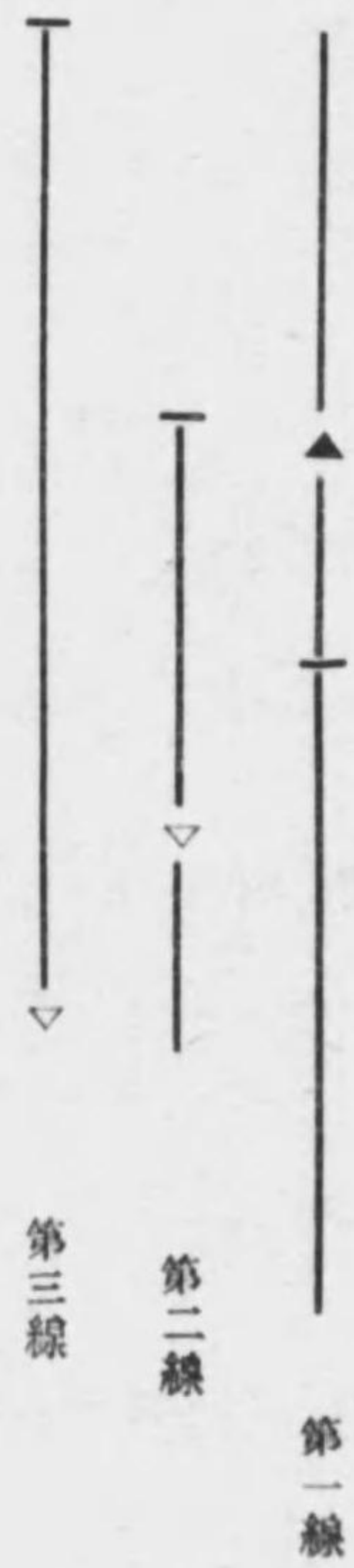


(三)

第一陽線の如く上下に長さ過剰線をつけた時は上げ相場の終局を意味す。而して第二の線が第一線の値巾の中心以下の安値を現はして陰線に大引したる時は更に天井を意味す、第三線の如く寄付が如何に高値に寄るも大引が第二線より下値に廻る時は極力賣るべし。

(第三圖)

(第三圖)



(四)

如何に大相場大暴騰しても第一陽線の如く上下に長き過剩線を示したる時は相場が浮足になつたことを意味し強氣力を薄弱ならしめつゝある(一時買玉は利喰すべし)而して賣場所を待つのが得策である。第二の陰線は天井線であるが第三第四陰線のやうに並んで第一線の本線より下値に大引したる頃を見て賣るべし。(第四圖)

(第四圖)





(五)

第五圖に於て四五日間續騰して以後陽線陰線とに長さ過剩線が二本以上並んで現はれたる時は必ず天井となる。

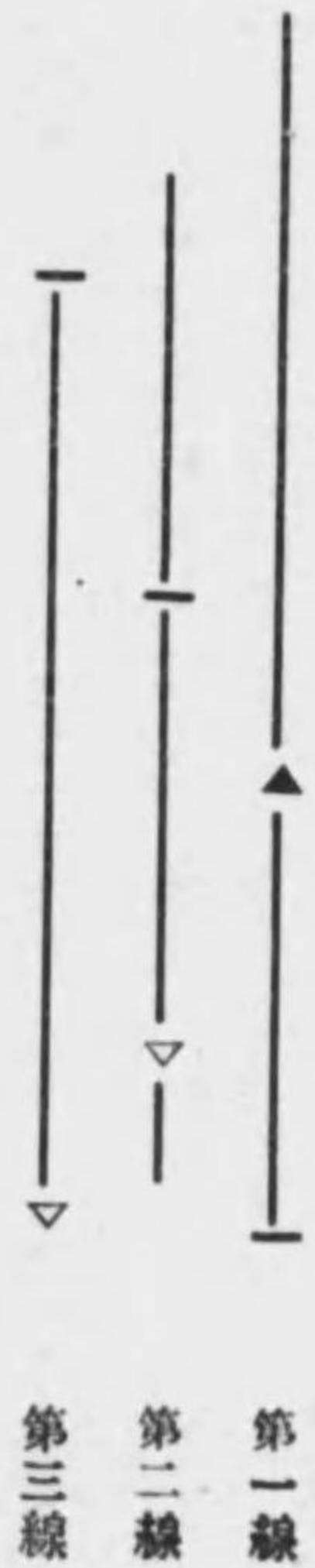
第二線が陰に大引して第一陽線の中心値以下なれば賣建しても可なるも長さ第三の陰線を示してより出動するが安全なる賣方である。

(第五圖)

六

上げ相場の氣力が次第に弱り第二の線第三の線の如き天井線が重なりて第四の線にて第二、第三の安値を下廻りして大引したる時は天井となる。(第六圖)

(第五圖)



(第六圖)



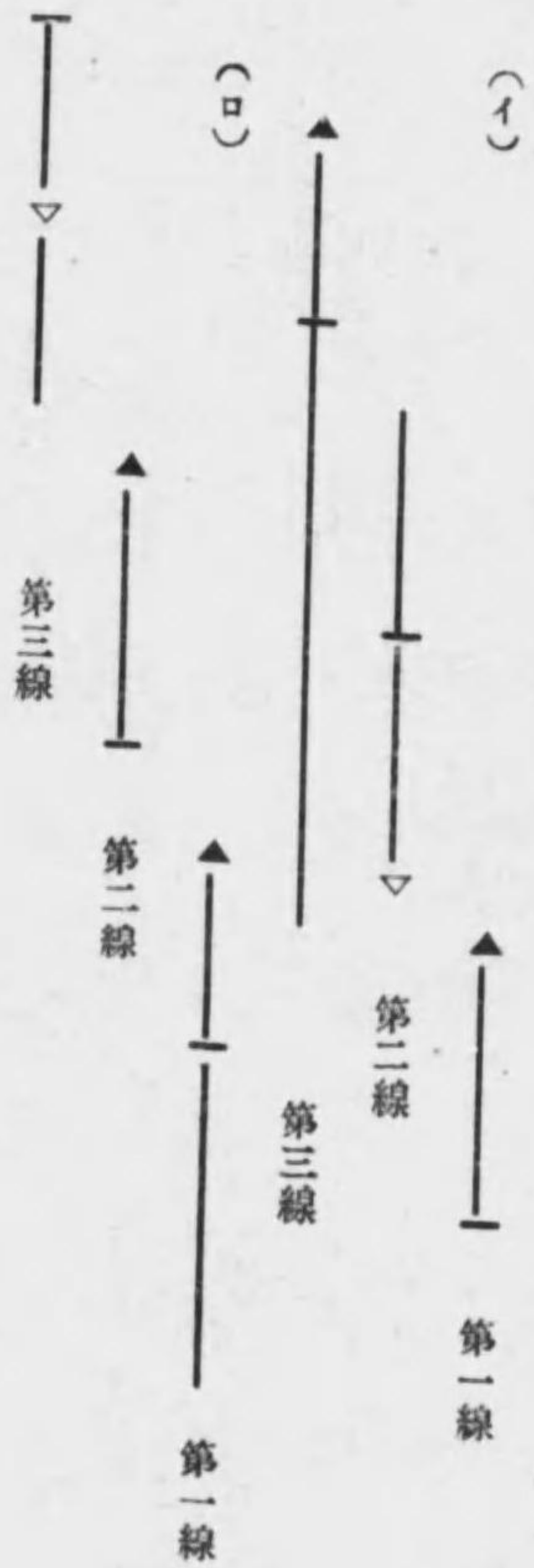
(七)

(イ)第三のの陽線の如く本線の二三倍以上の過剰線の生じたる時は天井の近づきたる前兆である。(ロ)の型の如き陰線を示したる時は如何に人氣が強くとも極力賣るべし、その翌場にて下寄すれば天井間違ひなし。(第七圖)

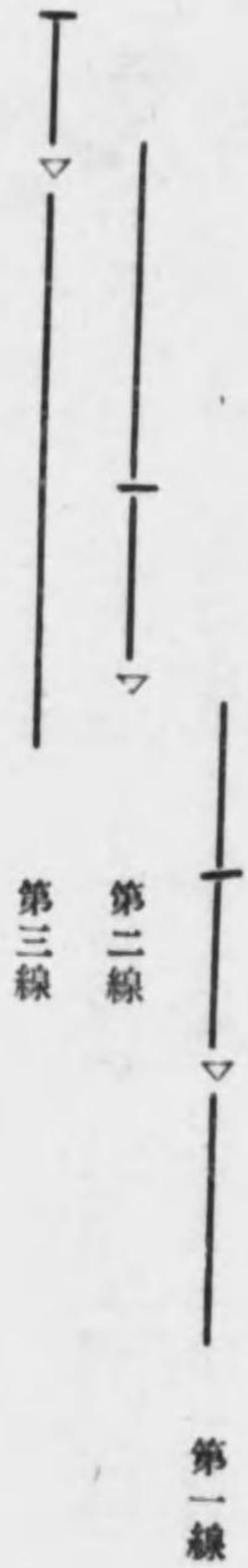
(八)

第八圖に於て第一陰線に上下の過剰線が生じて第三の陰線が第二線の下値を辿りて大引にて引戻すもそれは天井線である。人氣が如何に強くとも賣るべし、人氣が強ければその程度に下落の度が深い。

(第七圖)



(第八圖)



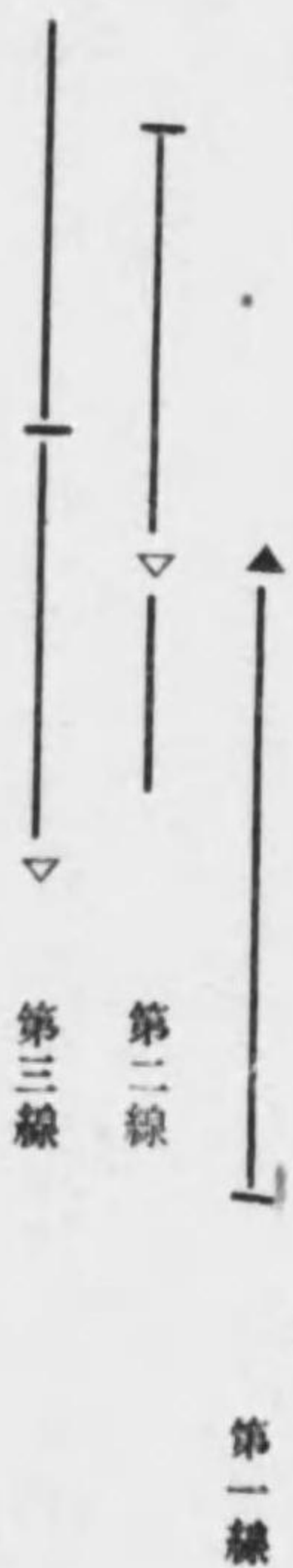
(九)

暴落の途中にして急騰したる場合第二陰線の大引値が第一陽線大引値と同値にして第三の陰線大引値が第一線の中心値以下に大引すればその大引値は極力賣つて然るべし。(第九圖)

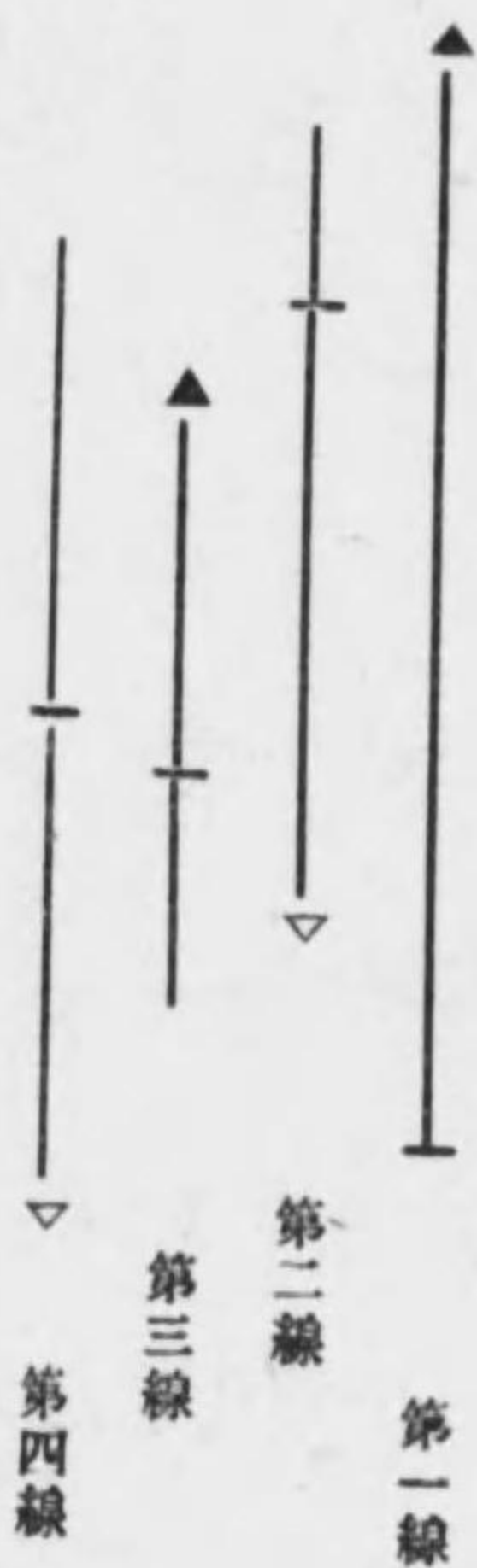
(一〇)

如何に大相場で陽線が續くとも各線の高値が次第に尻下となりて第一陽線値中にて保合ふ時は賣場が近づきつゝある。而して陽線に對する陰線が尻違いに大引したる時より賣線發生する。(第十圖)

(第九圖)



(第十圖)



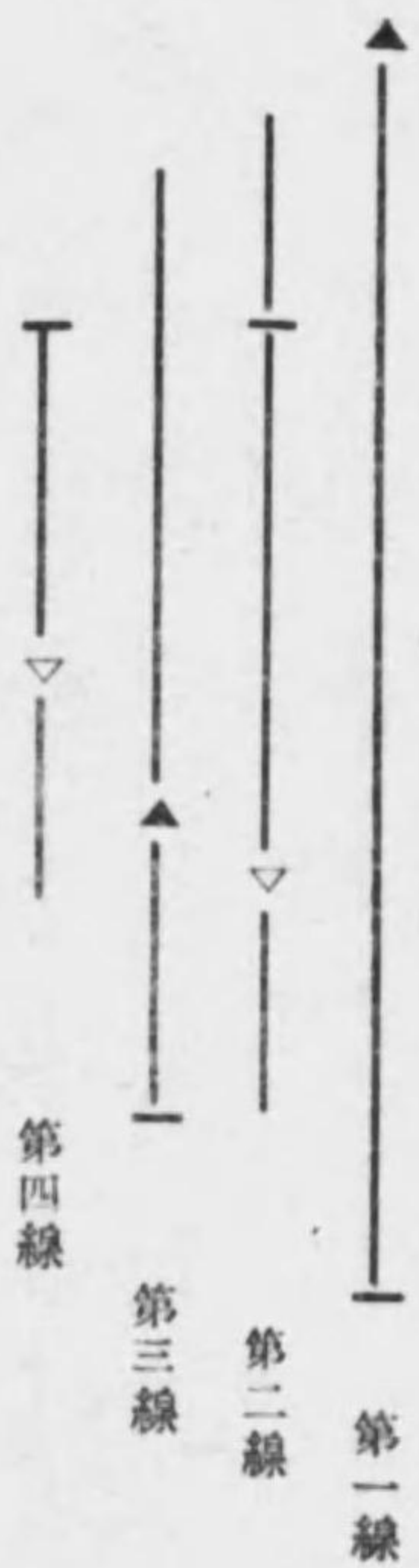
(一一)

突然急騰後第一の陽線の高値を第二の陰線が上廻りせずして寧ろ第一線の中心値以下を下廻りして而して第二、第三線の高値が第一線の高値より尻下に形づけば賣場が近づきつゝあるもので第四線の如き陰線が生じたれば適確なる賣線となる。(第十一圖)

(一二)

長き陰本線の次に陽線が現はれ再び第三線にて陰本線の發生があれば大天井となる。兩三日中には相當激しき動搖が生ずる。(第十二圖)

(第十一圖)



(第十二圖)



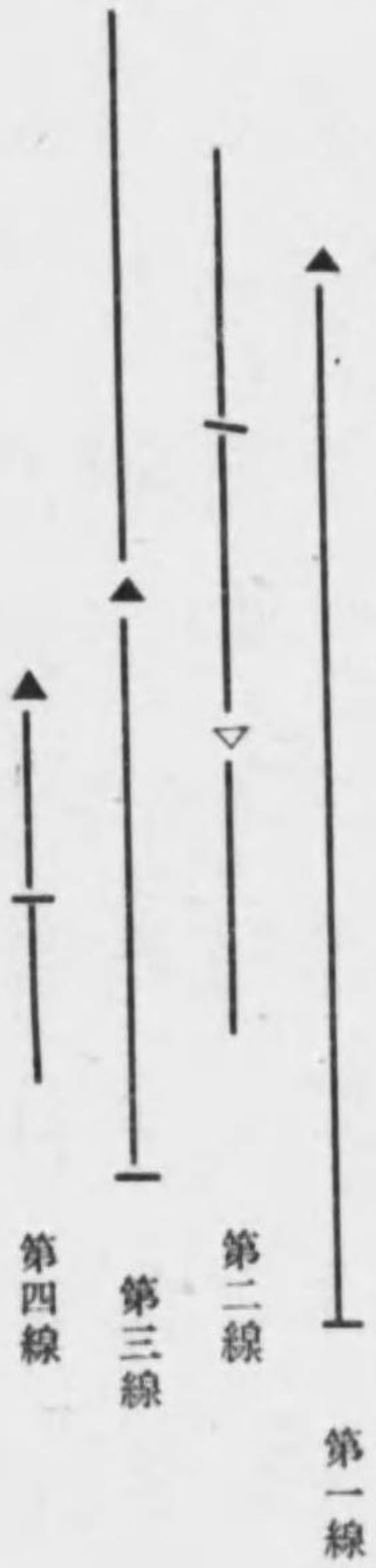
(一三)

大急騰して以後最も長き陽線が現はれてそれと並んで二線、三線のやうに保合して相當長さ過剩線が附隨すれば上相場の終了を示すものである。又保合中三線、四線の如く第一線の値巾中心以下の安値を示すやうな場合は賣線の初歩となる。(第十三圖)

(一四)

陽線が次第に引締りて陰線が次第下りの保合する時は天井となる陰線の對立數が多くて次第下りの保合は大天井となる。(第十四圖)

(第十三圖)



(第十四圖)



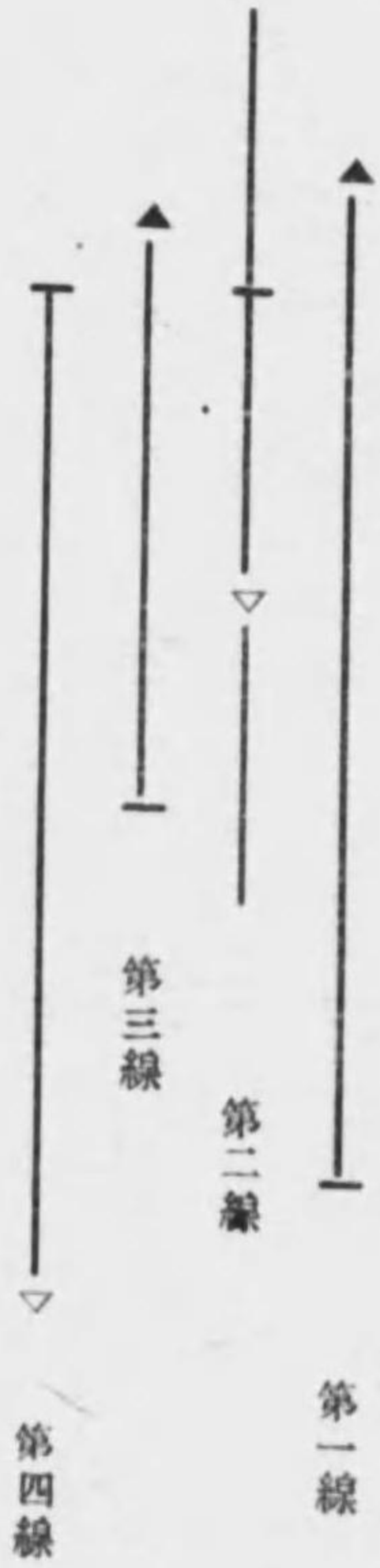
(一五)

暴騰して第一の陽本線が如何に長く強くとも、第二の陰線に上下何れにても相当長さ過剰線が附着して第三の線を丁度其の中央に孕みたる時はその第三線が陽線陰線に拘らず第四線は暴落の前兆となる。(第十五圖)

(一六)

次に記す十七號型と同一の形線であるが第三の陽本線が短くてそれに過剰線が附着して第四線にて陰に本線が現はれ第二、第三線の大引値を下廻りして大引した場面は賣りとなる。(第十六圖)

(第十五圖)



(第十六圖)



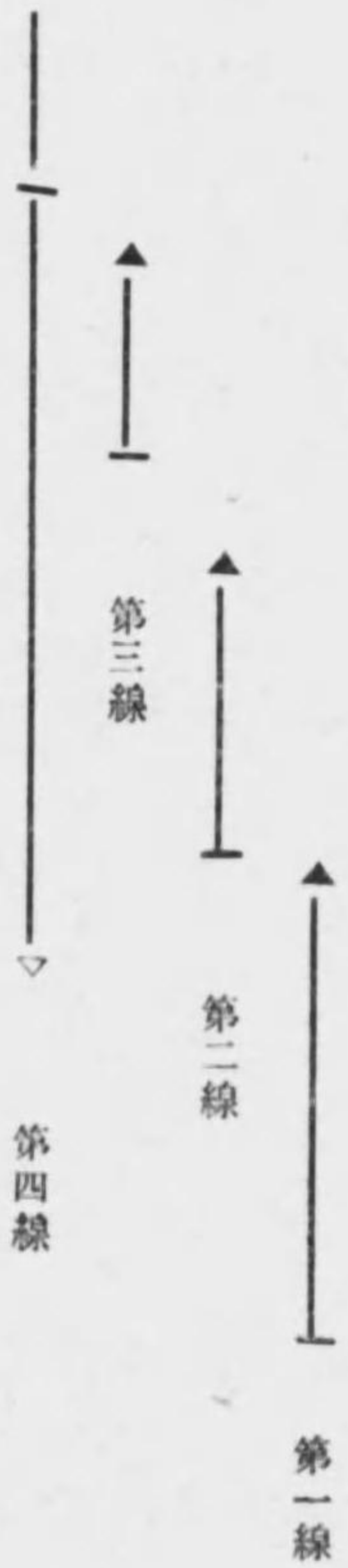
(一七)

第一、第二、第三と陽線が續くもその線位が短くなりつゝあるは上相場の終局を示すものである。第四線の如く寄付が第三線の引値より上値にあり上向に過剩線を作りて安値引となりたる時は賣り線法となる。(第十七圖)

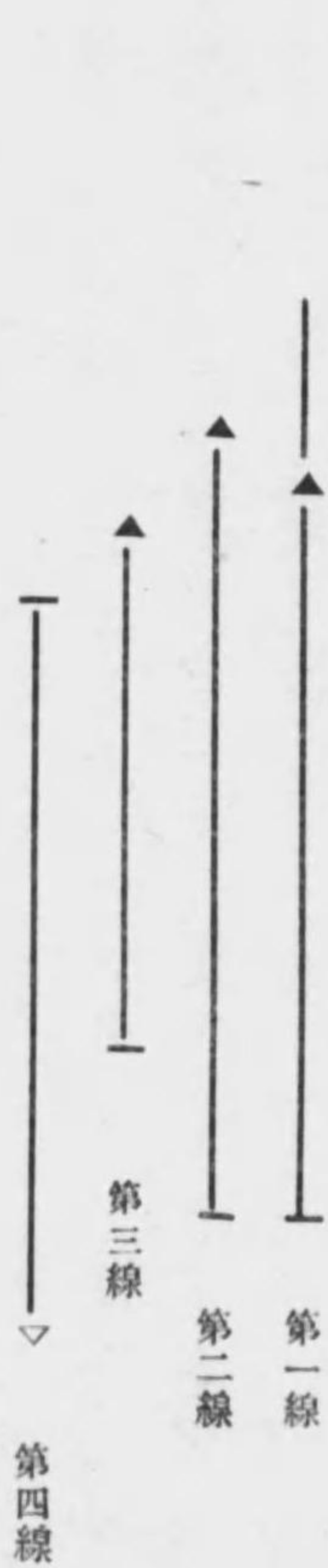
(一八)

陽線が次第下りの保合にて第四の陰線の如く尻違いに大引したる時は下落す。(第十八圖)

(第十七圖)



(第十八圖)

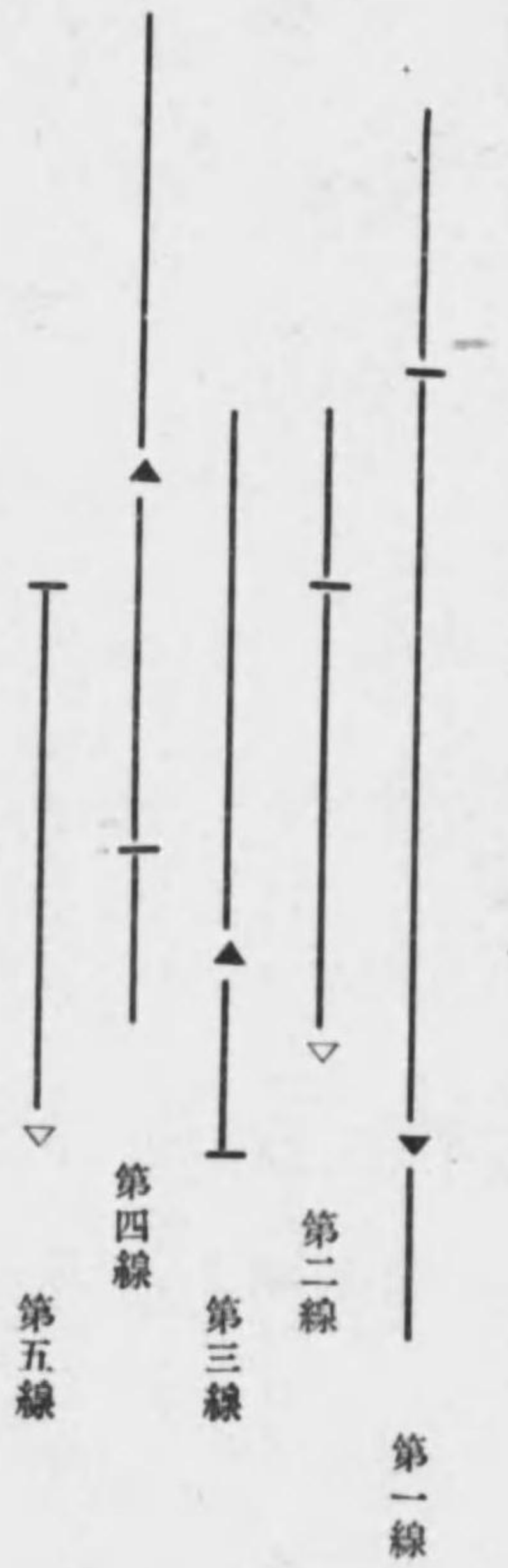


相當長さ陰線の値巾の間にて保合ふうちに第四の陽線の如く強保合の線が現はれるとも第五線にて尻違いに陰線に大引したる時は賣の線法である。(第十九圖)

相場が次第に縮少されて小保合裡に過剩線が上向に附隨すれば相場の方は下向きとなる前兆で第四の陰大引にて賣線法となる。

(第二十圖)

(第十九圖)



(第二十圖)





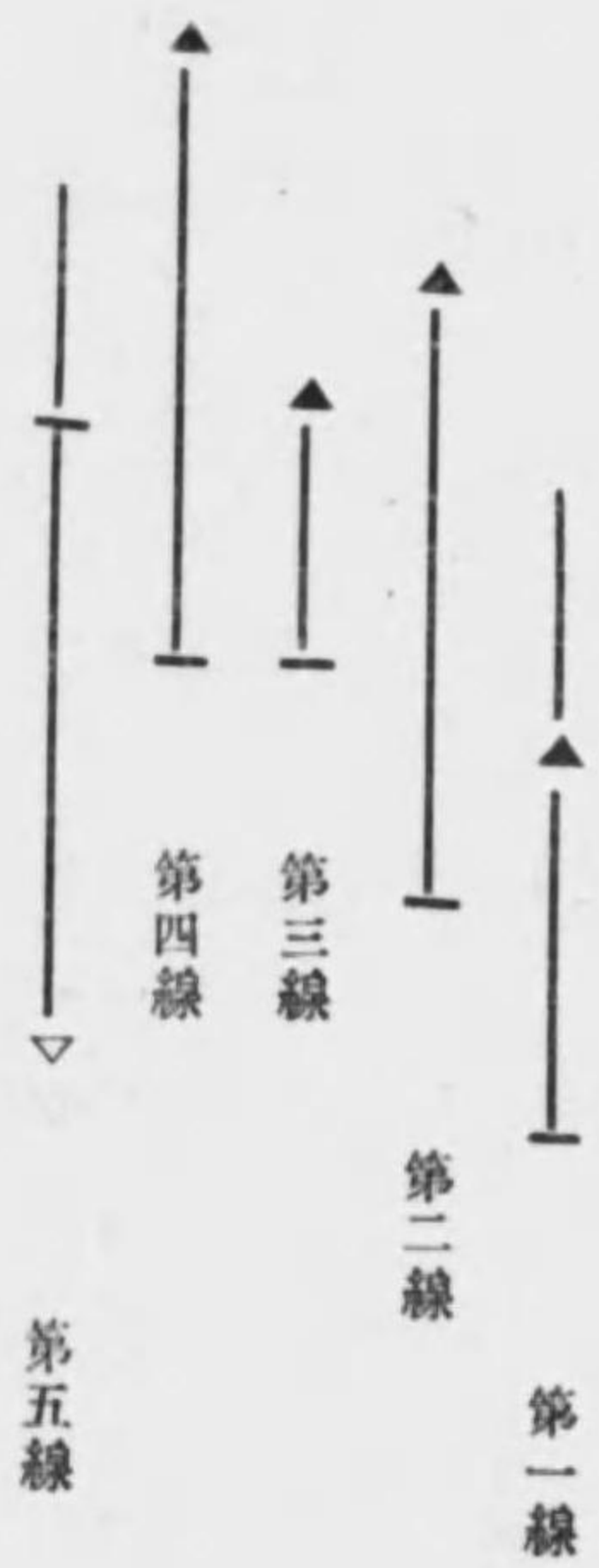
(一一一)

値巾が漸次縮少されて陽線の對立數が多くなつた場面は上相場の行詰りを暗示するものである。第五線の如く尻違いに陰に大引したる時は人氣如何に強くとも賣るべし。(第二二圖)

(一一二)

第二線の如く前日より飛離れて寄付きその一日中は左程動搖せずして上向に過剩線を附着せしめ又その翌場にて飛離れて下寄してその本線が短くて過剩線が附隨せし場合は近日に賣線が現はれるの前兆である。(第二三圖)

(第二十一圖)



(第二十二圖)



(一三三)

四五日間續騰して豫想外に相場が伸び第一線の如く陽本線が長く示したることは賣方の煎れ相場と観る、先づ買玉は一時手位舞が得策である。而して第二の線が第一線と同値又は大差なき大引をすれば上相場の終了となる。

それより以後に第三の如き陰線の出現を待つて大引より賣るべし。

(第二三圖)

(第二三圖)



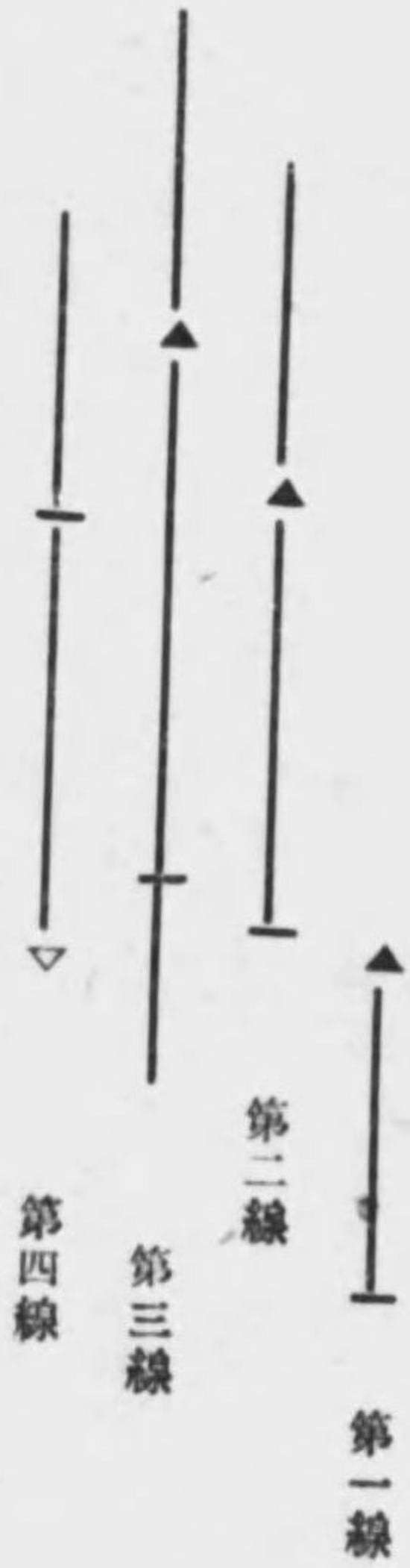
(二四)

四五日間續騰して長き陽本線が現はれてゐても第二、第三線の如き過剩線が生じたる場合は人氣が如何に強くとも迷はず賣るべし、第四の陰線にて尻違いに大引すれば極力賣るべし。(第二四圖)

(二五)

第一、第二線は近々に下落する暗示である。第二線の陽本線が何程長く示すとも第三、第四線が第二線の値巾より下廻りしたる陰大引線は賣線法となる。(第二五圖)

(第二四圖)



(第二五圖)



(二六)

第三線が陽線たるも第一線の中心以下に止まりてその大引が第二陰線の本線の中心以下なる時は買方針より賣方針に轉換するものである。(第二六圖)

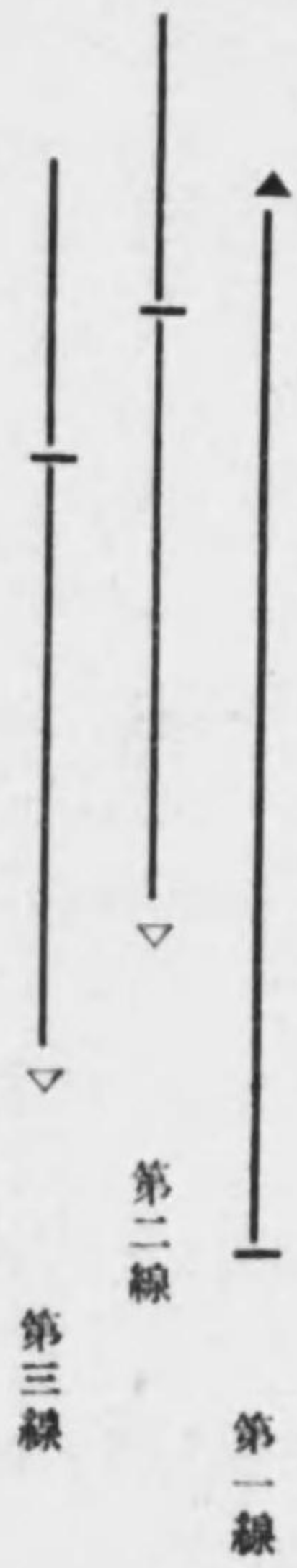
(二七)

第一線の如く強き陽線が生じても第二、第三線の如く二本以上對立して第一線の中心以下に大引する時は極力賣るべし。(第二七圖)

(第二六圖)



(第二七圖)



(二八)

二十七號型と殆ど同一のもので第一線に最も強き陽線が生じ第二陰線がその第一線の中心以下に大引せずとも第三陰線が第一線の中心以下に大引したる時はやはり賣線法である。(第二八圖)

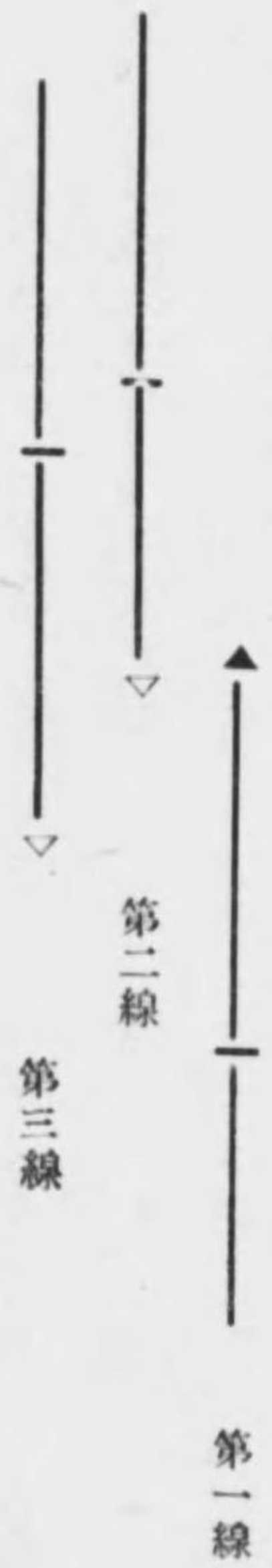
(二九)

第一線が陽線で第二、第三が陰線でその上向に過剩線を附着せしめ二本以上對立したる時は天井となる。(第二九圖)

(第二八圖)



(第二九圖)



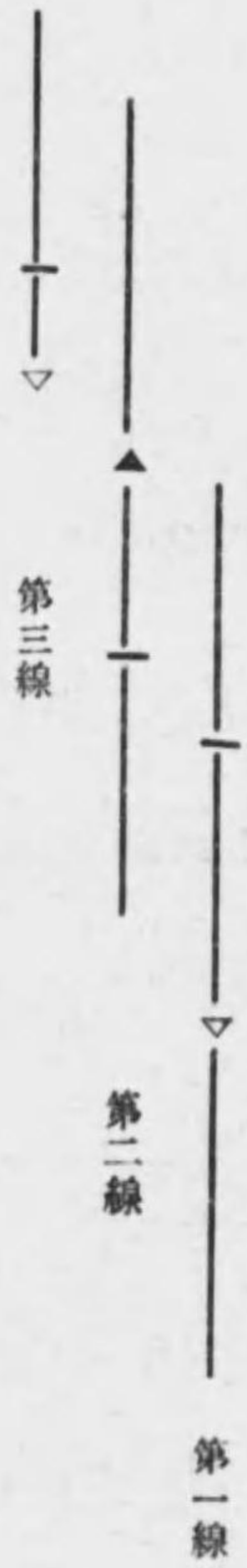
(三〇)

次の如く第二の陽線に長さ上下過剰線の附着したる時は天井の近づきたる暗示である。第三線の如く第二の陽線と尻違いに過剰線を附着して大引したるときは絶好の賣場となる。(第三〇圖)

(三一)

次の如く第二陽線が第一陽線の安値を下廻りして第一、第二ともに下向に過剰線を附着せしめられたれば近くに天井するの前兆である。第三線の如く上向に過剰線を附着せしめて陰に大引すれば確實な賣線となる。(第三一圖)

(第三十圖)



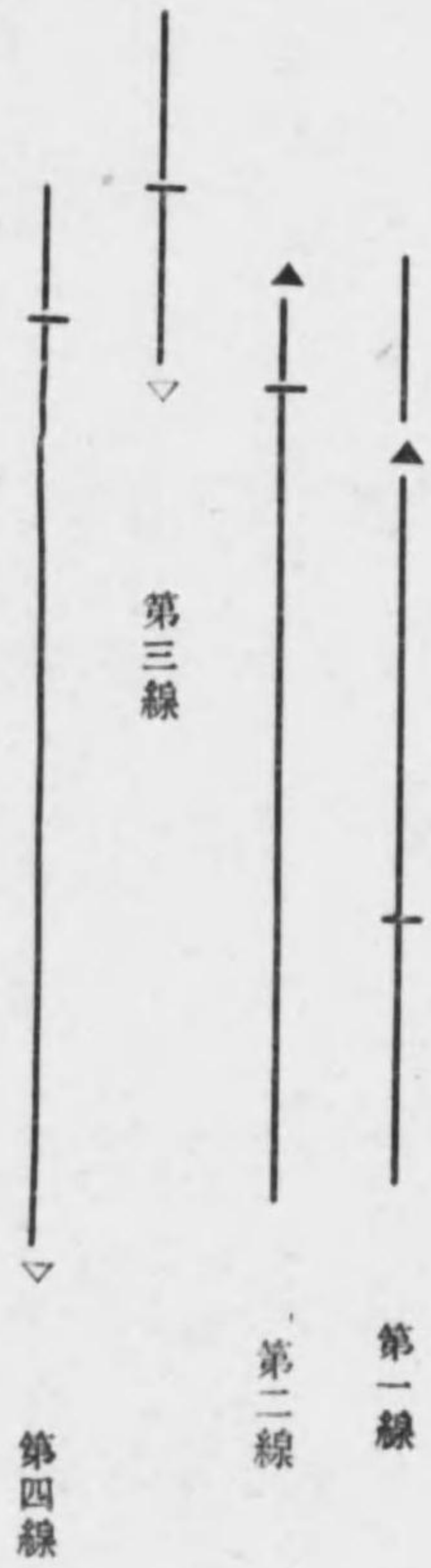
(第三十一圖)



(三二)

三十一號型と殆ど同一である。第二の陽線寄付が第一陽本線より上値にありて第一線を下廻りして而して大引に引返し高値引したる時下向に長さ過剰線をつけたる型は天井が近づきたる暗示である。而して第三線の上向に過剰線をつけて陰引し第四線にて一氣に第二、第三の安値を下へ切り落したる引値は賣つて漁利あり。(第三二圖)

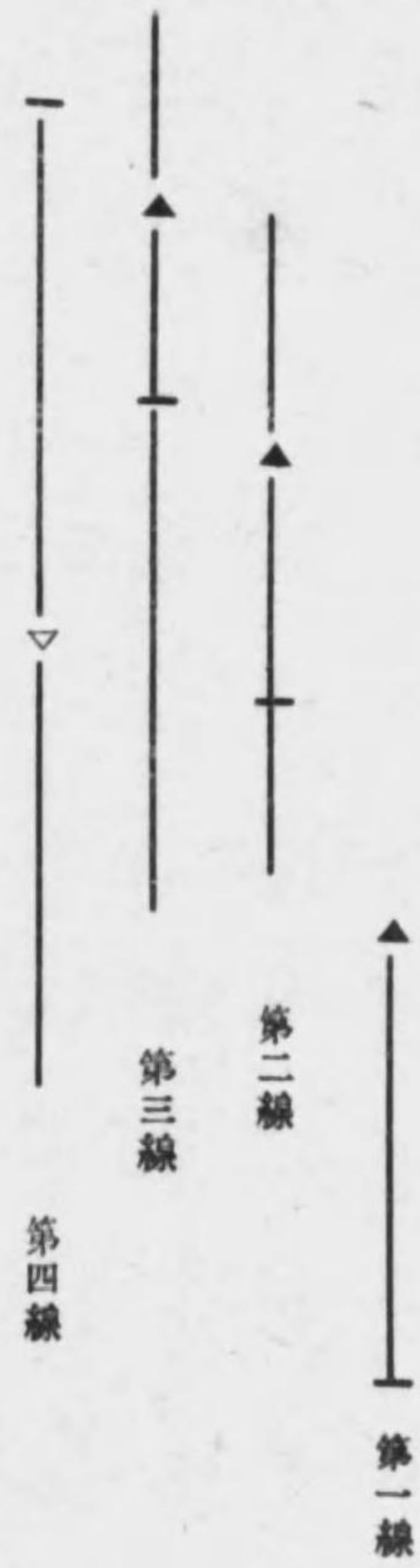
(第三二圖)



(三三三)

次の如く陽本線が短くなり第三線の如く過剰線が前日値を下廻りして大引に引返し上向にも過剰線をつけたれば買玉は一時利喰のこと第四線にて前日又は前々日の大引を一度に切り落して陰引すれば賣線法である。然し下向に過剰線を附着したれば押目人氣の振ひ落しの下押しである。(第三三三圖)

(第三十三圖)





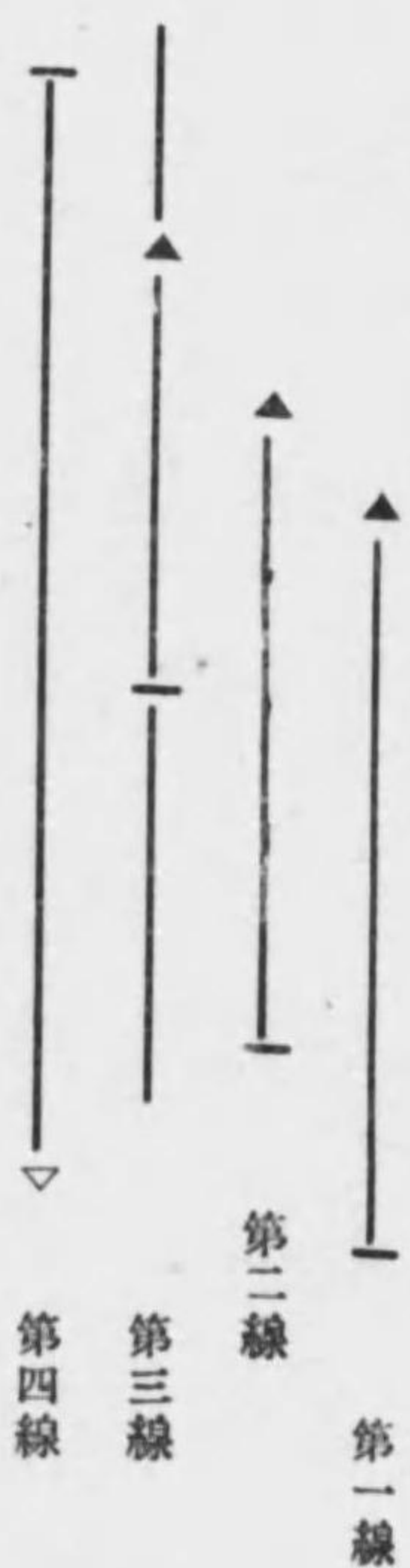
(三四)

四五日間續騰して第一、第二、第三と陽線のみで第三線に上下に過剰線をつけた場合は相場は浮足歩調を示すものである。而して第四線にて陰に各陽線を下廻りするが如き大引をすれば賣の線法となる  
(第三四圖)

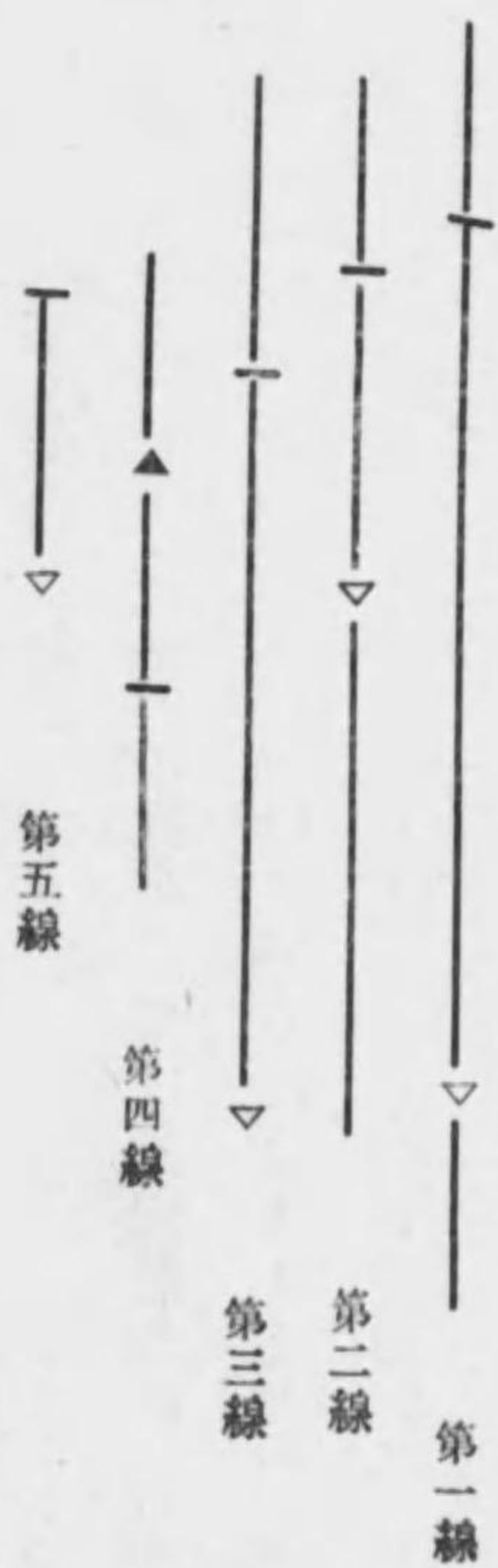
(三五)

第三五圖の如く陰線の對立數が多くて上値が尻下りの保合となりたるときは下落す。第四線の如き短き陽線を一本狭さめば一層暴落を強める。

(第三十四圖)



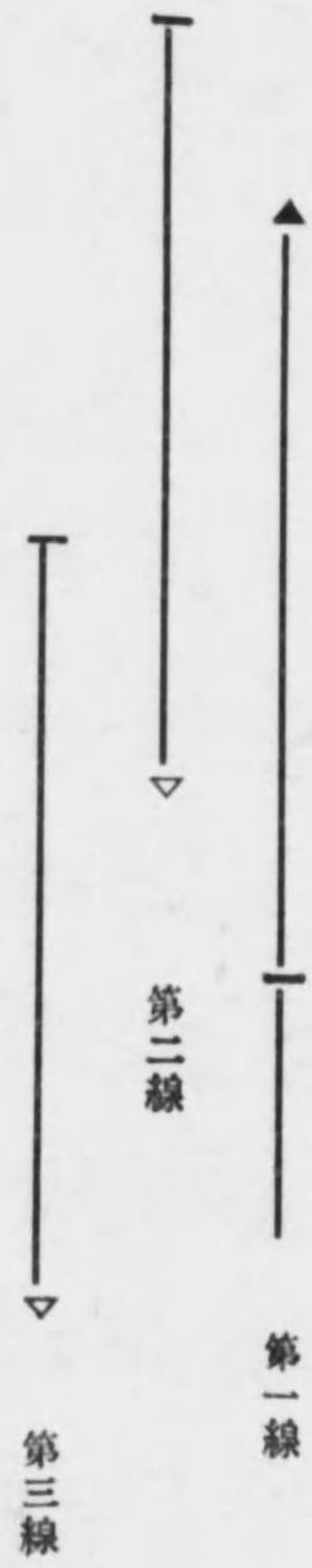
(第三十五圖)



(三六)

大天井の後下落しつゝある途中小保合して突然陽線が発生してもその陽線より長さ陰線が生じて陽線の本線中心よりも下位に大引すれば賣つて可又陽線の次に二本對立して現はれ陽線中心以下に陰引すれば極力賣るべし。(第三六圖)

(第三十六圖)



(三七)

第三十七圖の如く第一線が陽引なし第二線が上放れ陽引なし第三線亦上放れ陽引なしたる時は賣りて不安ならず、亦第四線尙上放れ陽引なしたる時は更に賣り迎ふべし。

(第三十七圖)

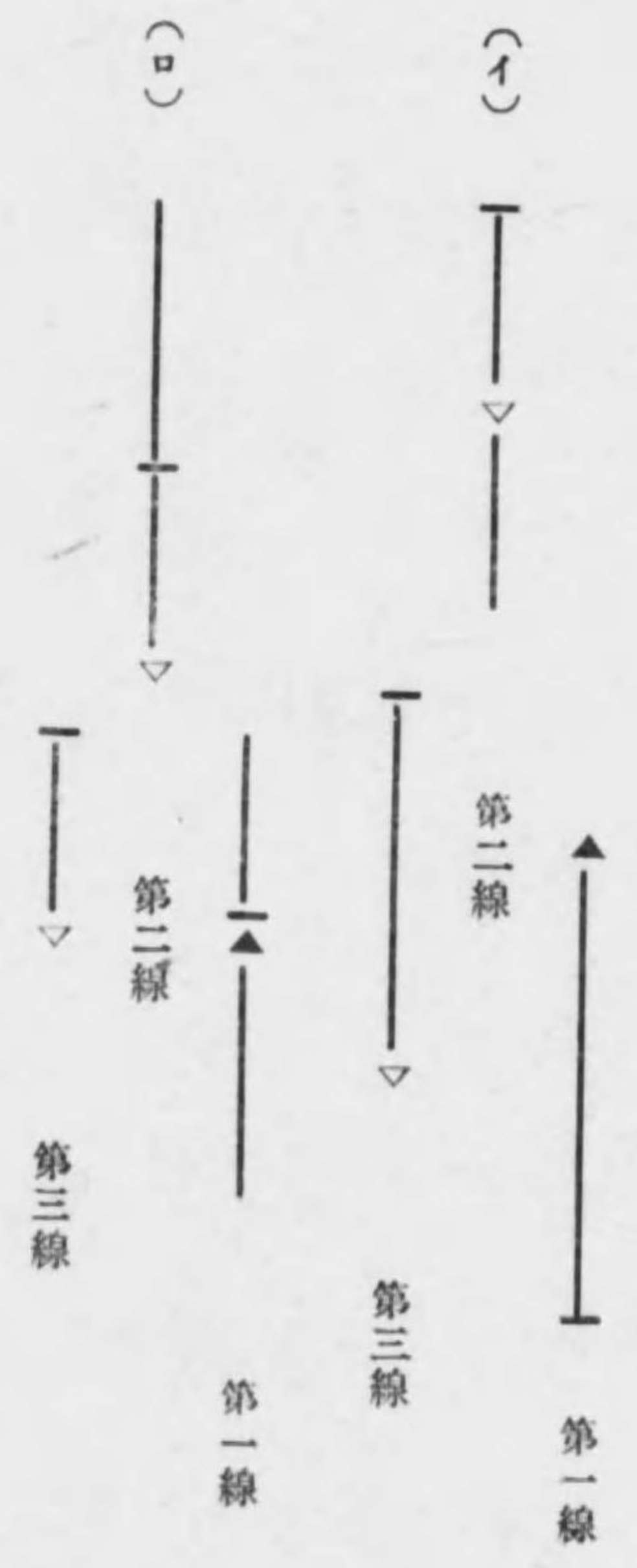


## 第七章 天底線の型

(一)

數日間相場が續騰して相當上値にある場合(天井形と見做した時)  
 (イ)(ロ)の如く第一線が陽線で第二、第三線が陰線なる事を條件として、第二線が第一線より上位に飛離れて(三圓乃至五圓程度)過剩線を作りて終了し、而して第三線が又も飛下りて陰線に大引したるときはその引値は極力賣るべし。(相場が上位にある上位に限る賣線法)

(第一圖)



(11)

連日軟歩調若くは保合裡にて相場が下位にある場合(場面)底固き  
氣味が感ぜられ底値と見做したる時(イ)(ロ)の型の如く陰陽の區  
別なく、第一線が下向に相當長さ過剩線を作りて第二線が第一線の  
上位に飛離れて(三圓乃至五圓程度)終了し、而して第三線がその  
第二陰線と同じ位置に陽引にて終了したるものは極力買ふべし。

(相場が下位にある場合に限る買線法)

(第二圖)



## 第八章 天井線の早見法則

本章に述べる次の場合は何れも賣線が発生する場合にして、應用に際しては先づ相場が現在如何なる状態に在るやを知り而して第六章に述べた各場合に當て嵌め將來の相場の動きを知るのである。

- (第一) 上値にて最も長き過剩線が數本對立して發生したる場合
- (第二) 陰線が多數對立して上値が次第に下りて保合の状態に入りたる場合

(第三) 上値にて長き陰本線が発生したる場合

- (第四) 引續き上騰中以前の高値又は關門を突破して上進したる場合

(第五) 續騰して、相場が上値にて線の陰陽に關係なく高下激し

き動搖をなしたる場合

## 第九章 大底線の早見法則

本章に述べる次の場合は何れも買線が発生する場合にして、前章頭初に述べし如く第五章の各節に當て嵌め早見の法則を應用すべし。

(第一) 相場下落後最も長き陰本線が発生したる場合

(第二) 相場が以前の安値を下廻りするか又はそれに接近したる場合

(第三) 相場下落後過剩線をつけたる線が多數對立したる場合

(第四) 相場が下位にありし時陽線が多數對立して値巾の下値が次第上りの保合状態になりたる場合

(第五) 相場が暴落して陰陽にか々はらず下向きに長き過剩線が

現はれたる場合

## 第十章 相場保合後の法則

(第一) 相場保合後上放れ上騰して加何にも好化したるが如く見受けられたるも中途坐折して以前の保合値巾中に折込み再び好化しはじめて上騰歩調を辿りたる時は、その以前の保合値巾の三分の二以上を引返すにあらざれば矢張その場面は保合と観るべし然し三分の二以上を引返せば相場はその方向に目先進展するものである。

(第二) 相場保合後、下放れて如何にも悪化したるが如く見受けたるも中途より引返して以前の保合値巾中に戻すも再び軟化し始めたる場合は同じく、保合値巾の三分の二以上

を下廻り大引するにあらざれば矢張その場面は保合と観るべし然しより以上軟化の傾向を辿るものとすれば相場はその方向に進展するものである。

(終)

昭和十一年三月二十四日 印刷  
昭和十一年四月二十六日 發行

『罫線上に於ける型の法』 定價金壹圓

著者 北 岡 宮 吉

東京市中野區上高田一ノ一三五

發行者 北 岡 宮 吉

東京市神田區美土代町二ノ二

印刷者 鈴 木 寛 太 郎



發行所

東京市中野區上高田一ノ一三五

庚 申 會



終

0